



数字で見るニセコ

ニセコ町統計資料 2025年5月版



目次

ニセコ町の概要

ニセコ町民憲章、ニセコ町まちづくり基本条例、 町の木・花・鳥、ニセコ町イメージキャラクター、ニセコ町章	…	4
ニセコ町の位置	…	5

ニセコ町の気象概況

平均気温の変化	…	5
日照時間（月平均）の変化	…	6
降雪量と最深積雪の変化	…	6

ニセコ町の自然・土地

自然公園	…	7
主な山岳、河川	…	7
森林面積	…	7
地目別土地面積・総面積	…	8
地目別面積比率	…	8

ニセコ町の人口と産業構造

年齢別男女人口	…	9
国勢調査人口の推移	…	9
年齢別人口の推移	…	10
普通出生率の推移	…	10
人口推移と推計	…	10
外国人住民基本台帳登録者数の推移	…	11
産業別就業人口の推移	…	11
産業別就業人口構成比率の推移	…	11
産業別就業人口	…	12
産業別就業人口比率の全道比較	…	12

ニセコ町の農業

農家数の推移	…	13
経営耕地規模別経営体数	…	13
主な作物の作付面積・収穫量	…	14
YES!clean認証件数の動向	…	15

ニセコ町の観光

観光客入り込み数の推移	…	15
観光客入り込み状況	…	16
外国人宿泊客の状況	…	17

目 次

ニセコ町の社会基盤	
水道施設・給水状況	… 18
公共下水道の普及状況	… 18
ニセコ町の環境	
二酸化炭素排出量	… 19
延べ床面積あたりの温室効果ガス排出量	… 19
ごみ処理	… 20
ニセコ町の教育	
学校状況等	… 20
ニセコ町の財政	
2023(令和5) 年度決算状況	… 21
ニセコ町のあゆみ	
ニセコ年表	… 22

ニセコ町の概要

「ニセコ町民憲章」（1973年11月3日制定）

私たちはニセコ町の自然を愛し、恵まれた大地で勤労と生産に励む日々を感謝しながら希望に満ちた生活につとめ、より豊かな未来をつくるために願いを込めてこの憲章を定めます。

- 一、自然を愛し住みよい環境をつくりましょう。
- 一、きまりを守り明るい社会をつくりましょう。
- 一、力をあわせ豊かな生産にはげみましょう。
- 一、健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
- 一、希望に生きるたくましい町民となりましょう。

「ニセコ町まちづくり基本条例」（2000年12月27日制定）

この条例は、自治基本条例として全国で先駆けて制定され、ニセコのまちづくりを進める上で町民共通のルールであり、「まちの憲法」でもあります。

「情報共有」と「住民参加」を2本柱に、日本国憲法や地方自治法などの法の精神に基づき、町民がまちづくりの主体（主体）として行動するための権利を保障するものです。

【前文】

ニセコ町は、先人の労苦の中で歴史を刻み、町を愛する多くの人々の英知に支えられて今日を迎えています。わたしたち町民は、この美しく厳しい自然と相互扶助の中で培われた風土や人の心を守り、育て、「住むことが誇りに思えるまち」をめざします。

まちづくりは、町民一人ひとりが自ら考え、行動することによる「自治」が基本です。わたしたち町民は「情報共有」の実践により、この自治が実現できることを学びました。

わたしたち町民は、ここにニセコ町のまちづくりの理念を明らかにし、日々の暮らしの中でよろこびを実感できるまちをつくるため、この条例を制定します。

【町の木】



しらかば

(1979. 4. 4制定)

【町の花】



ラベンダー

(1991. 10. 1制定)

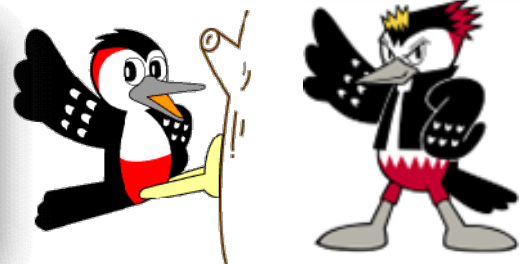
【町の鳥】



アカゲラ

(1991. 10. 1制定)

【ニセコ町イメージキャラクター】



『ニッキー』

と

『アニッキー』

(アカゲラ)

「ニセコ町章」（1968年5月15日制定）

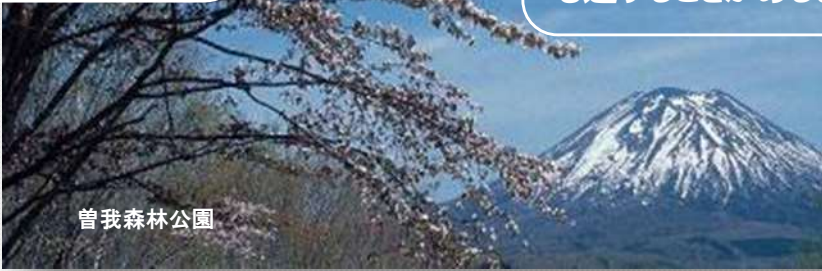
町名の「ニセコ」を図案化したもので、「ニ」は雲を、「セ」は山を、「コ」は流れを意味し、それぞれ青雲の志、不動の姿、不斷の努力を表す。総体的に丸形は平和と団結を、山頂と山裾は飛躍と発展を、内側の白い部分は清らかな心と雪を象徴する。



ニセコ町の位置



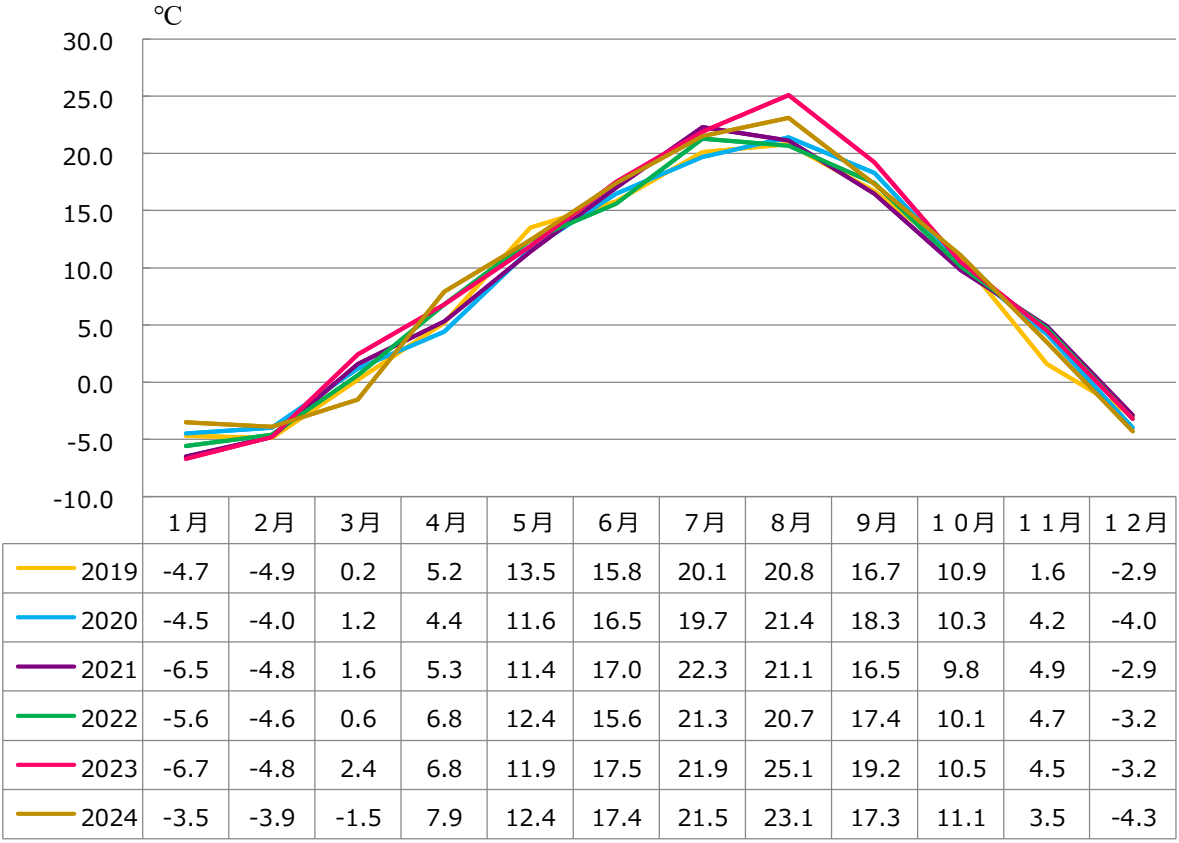
ニセコ町は、東経140°48′ 北緯42°52′、道央の西部、後志管内のほぼ中央に位置し、山岳に囲まれた波状傾斜の多い丘陵盆地を形成している。このため内陸的気候を呈し、平均気温はおおよそ8.0℃である。また、冬期の最深積雪は200cmにも達することがある。



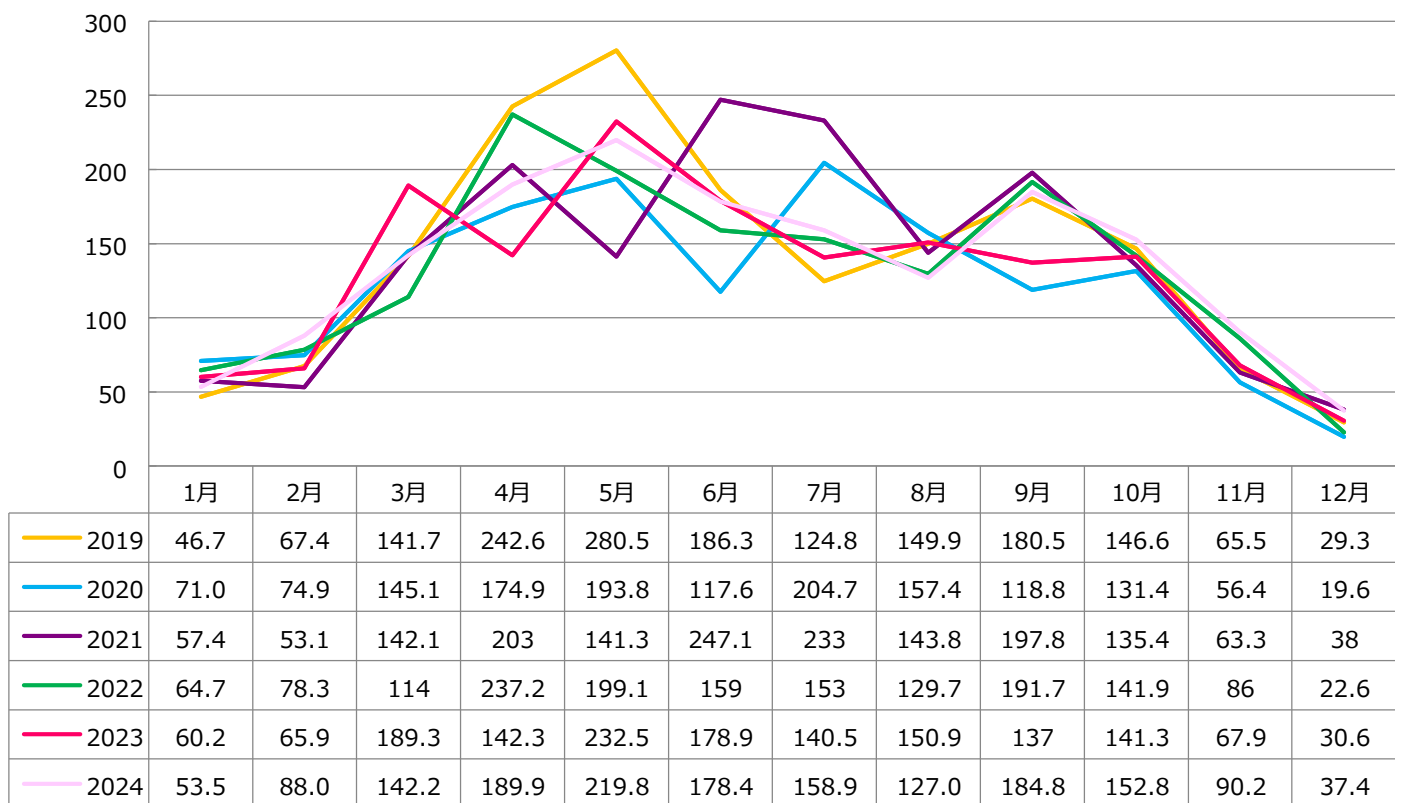
年間平均気温	
2019	7.7
2020	7.9
2021	8.0
2022	8.0
2023	8.8
2024	8.4

ニセコ町の気象概況

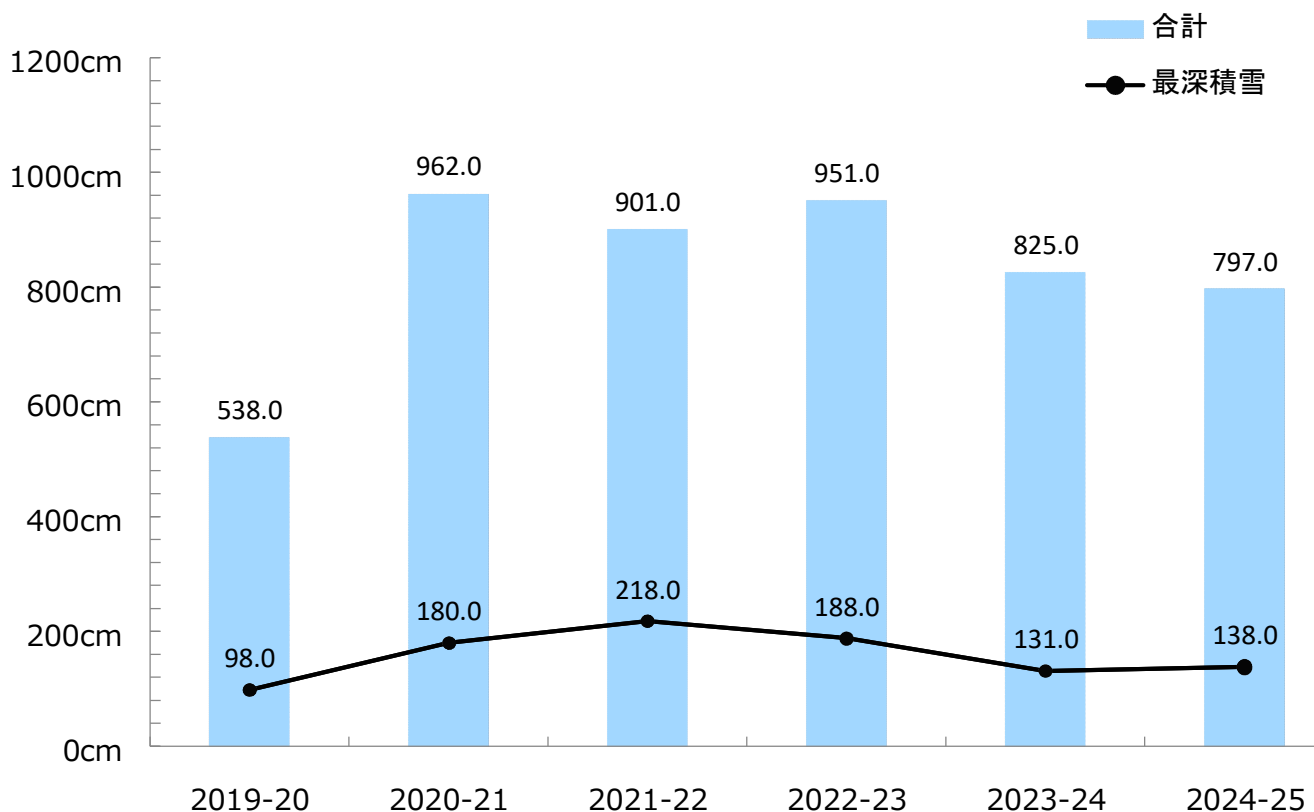
平均気温の変化（札幌管区気象台倶知安測候所観測値）



日照時間（月平均）の変化 （札幌管区気象台倶知安測候所観測値）



降雪量と最深積雪の変化 （羊蹄山ろく消防組合ニセコ支署調べ）



ニセコ町の自然・土地

自然公園（北海道後志総合振興局環境生活課調べ）

支笏洞爺国立公園とニセコ積丹小樽海岸国定公園を合わせると、ニセコ町全体の約 13.5% の面積を占めており、貴重な自然に恵まれた土地であることがわかる。

公 園	町内に占める面積	総面積
支 笏 洞 爺 国 立 公 園	1,374ha	99,473ha
ニ セ コ 積 丹 小 樽 海 岸 国 定 公 園	1,280ha	19,009ha(陸域) 43.6ha(海中公園地域)

主な山岳・河川（国土地理院地形図）

ニセコアンヌプリ、昆布岳、そして「蝦夷富士」と呼ばれる羊蹄山に三方を囲まれている。そのほぼ中央を、北海道で6番目の流路延長を持つ尻別川が、真狩川や昆布川などの支流を集め、東西に流れている。

山 岳 名	標高 (m)	河 川 名	延長 (km)
羊 蹄 山	1,898	尻 別 川	125.7
ニ セ コ ア ヌ プ リ	1,308	真 狩 川	27.4
昆 布 岳	1,045	昆 布 川	24.4

森林面積（2020（令和2）年度北海道林業統計）

天然林が全体の約76%を占めている。

区 分	面積(ha)
人 工 林	2,885
天 然 林	10,041
無 立 木 地	319
樹 林 地 総 数	13,245

区 分	面積(ha)
町 有 林	577
国 有 林	0
道 有 林	6,010
そ の 他 民 有 林	6,658
樹 林 地 総 数	13,245

ニセコ野営場

ニセコアンヌプリとイワオヌプリに挟まれた、五色温泉そばにあり、登山や沼めぐりの拠点としても最適です。春から初夏に野山を彩るお花畑や、紅葉の名所からも近く、隣接する五色温泉の露天風呂を楽しむこともできます。

- ◇所在地 ニセコ五色温泉付近
- ◇開設期間 6月上旬～10月下旬
- ◇収容能力 100名
- ◇料金(1泊) 大人 500円
小中学生 200円
小学生未満 無料

地目別土地面積・総面積（2024（令和6）年度固定資産概要調書）

山林が全体の約半分を占め、次いで原野、その他の順である。

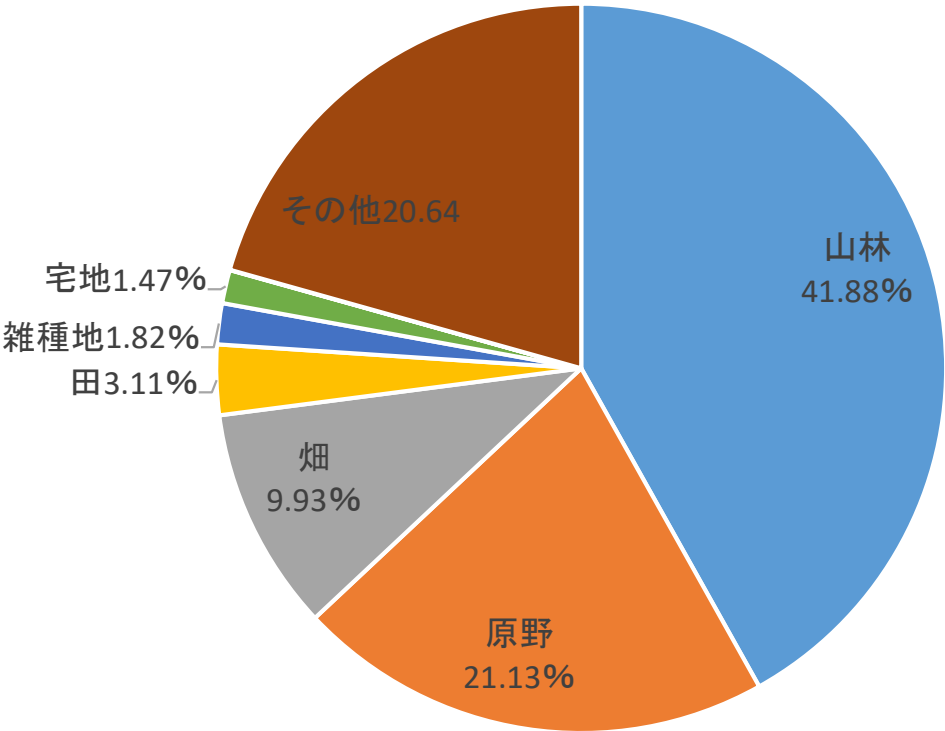
その他には、公衆用道路、保安林、公園、墓地、境内、水道用地、用悪水路、ため池が含まれる。



桜ヶ丘公園のカタクリとエゾエンゴサク

地目	面積（㎡）	割合
田	6,137,817	3.11%
畑	19,579,138	9.93%
宅地	2,896,888	1.47%
鉱泉地	550	0.00%
池・沼	48,341	0.02%
山林	82,558,065	41.88%
牧場	511,636	0.26%
原野	41,652,126	21.13%
雑種地	3,590,488	1.82%
その他	40,154,951	20.38%
総面積	197,130,000	100%

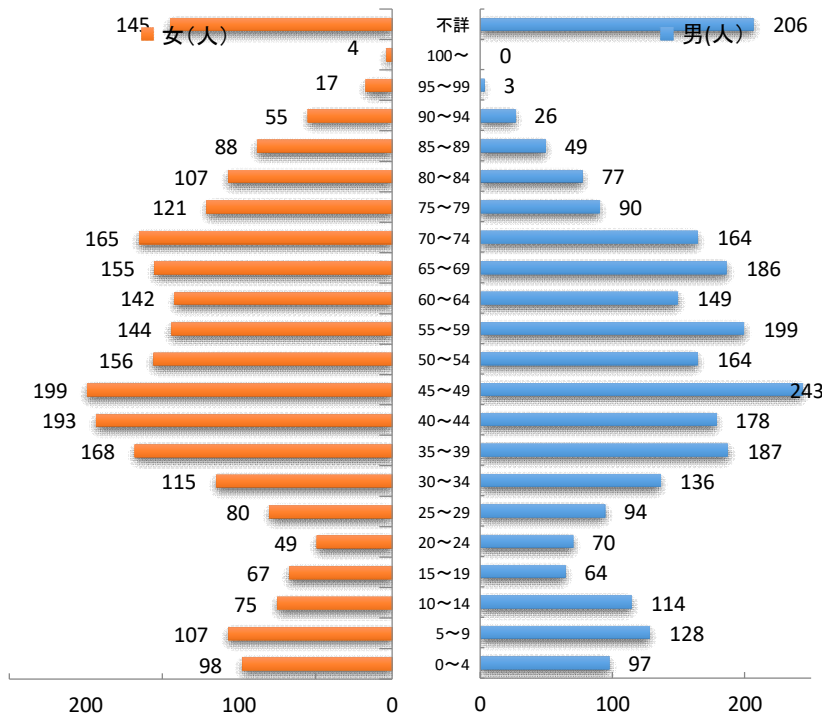
地目別面積比率（2024（令和6）年度固定資産概要調書）



ニセコ町の人口と産業構造

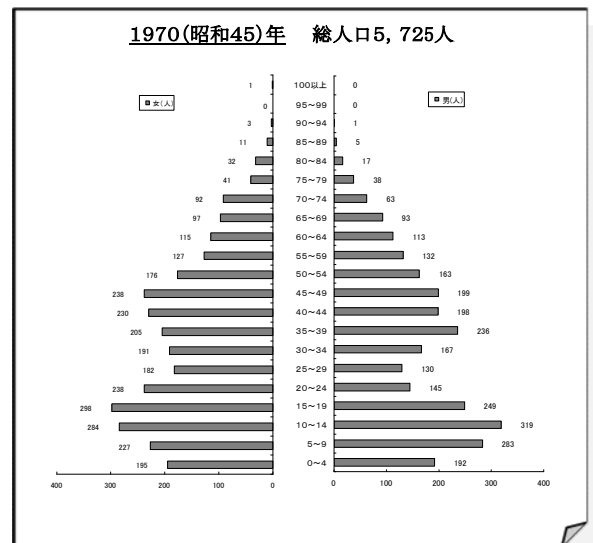
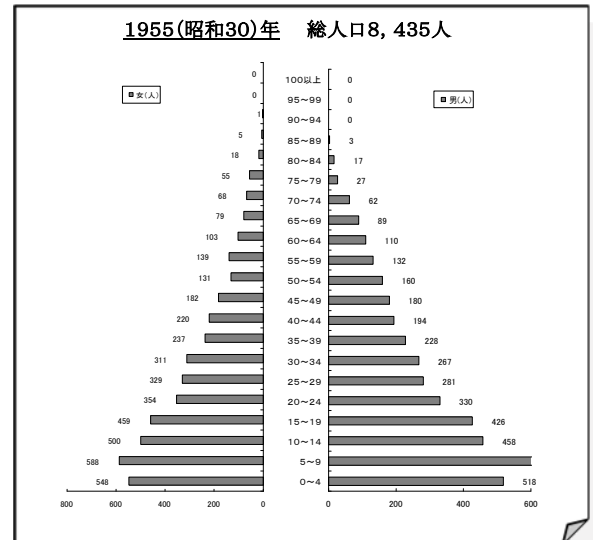
年齢別男女別人口 (2020年国勢調査)

2020年に実施された国勢調査によると、男2,624人、女2,450人、総人口5,074人（含む外国人）となった。65歳以上の高齢者比率は 25.8%であり、今後も高齢化が進むものと思われる。なお、全国の高齢化比率は26.6%、北海道の高齢者比率は29.1%、である。



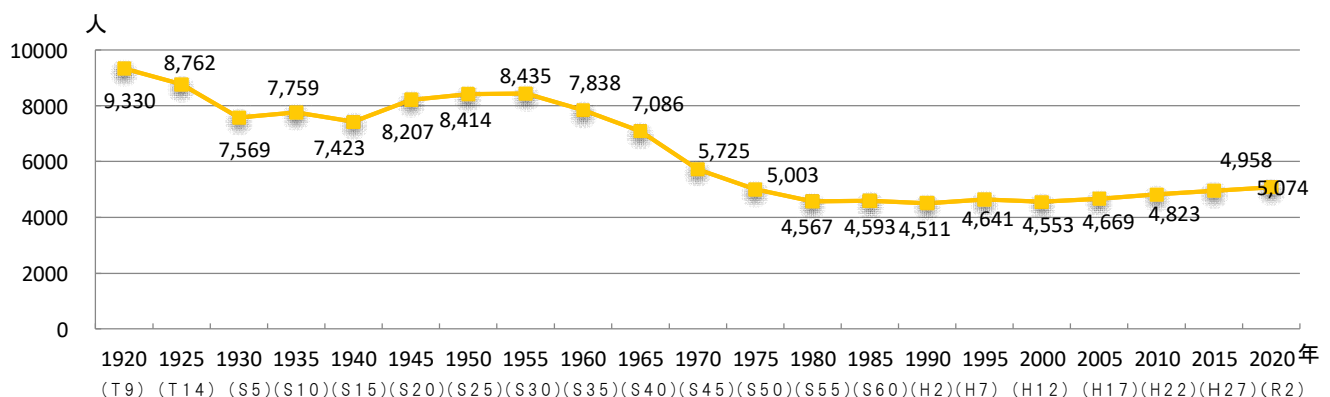
※右のグラフは、戦後最も人口が多かった頃（1955年）と、人口減少が最も激しかった頃（1970年）の人口ピラミッドである。

3つのグラフを年代ごとに見ると、「ピラミッド型」から「釣り鐘型」に形が変わっていく様子がわかる。すなわち、少子高齢化社会への変化が目で見ることができる。

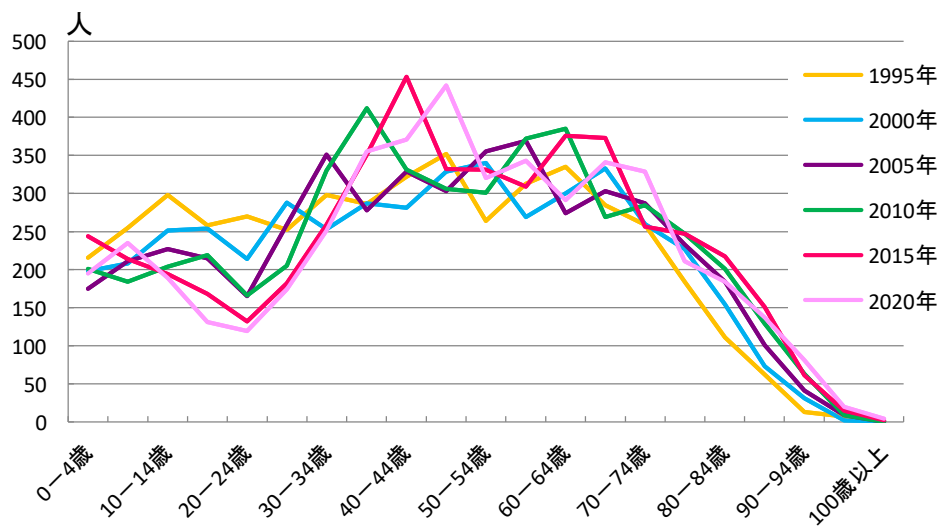


国勢調査における人口の推移

1920年より1940年までは減少したが、戦後一時増加に転じた。しかし、全国的に過疎化が顕著化し始めた1960年頃から再び減少し始め、1980年には1920年の半分以上に落ち込んだ。以降、横ばい状態が続いていたが、2000年以降、多くの市町村が人口減少する中、増加してきている。

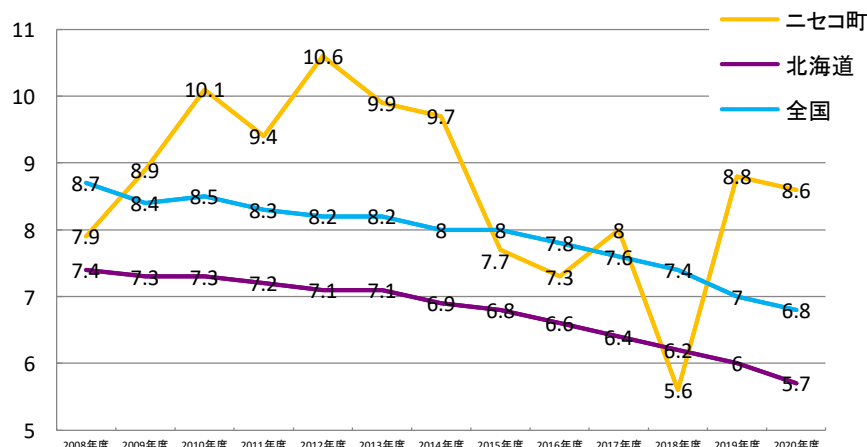


年齢別人口の推移（国勢調査 1995-2020）



ニセコ町の5歳ごとの年齢別人口推計を見てみると、1995年から20年間で少子高齢化が進んでいることがわかる。しかし、0～4歳代の子供や、40歳代の人口が増加しており、子育て世代や、リタイア後の移住者が増えたことにより、人口も増加傾向にある。また、近年外国人の居住者が増えていることも、人口増加の要因とも言える。

普通出生率の推移（人口動態統計、住民基本台帳）



普通出生率は、人口千人に対し子どもが何人生まれたかという数値である。ニセコ町は北海道や全国との数値と比較すると、出生率が高い傾向にあるが、2012（平成24）年度に10.6に達して以降は減少している。

将来人口の推計（第3期ニセコ町自治創生総合戦略）

2025年度に策定した「第3期ニセコ町創生総合戦略」において、下記の条件を設定し、ニセコ町の将来人口を推計した。その結果、総人口は最も多い年（2035年）で5,755人まで増加し、その後緩やかに減少して、2070年には4,359人になると見込んでいる。特に、生産年齢人口の減少が予測される。

【仮定条件】

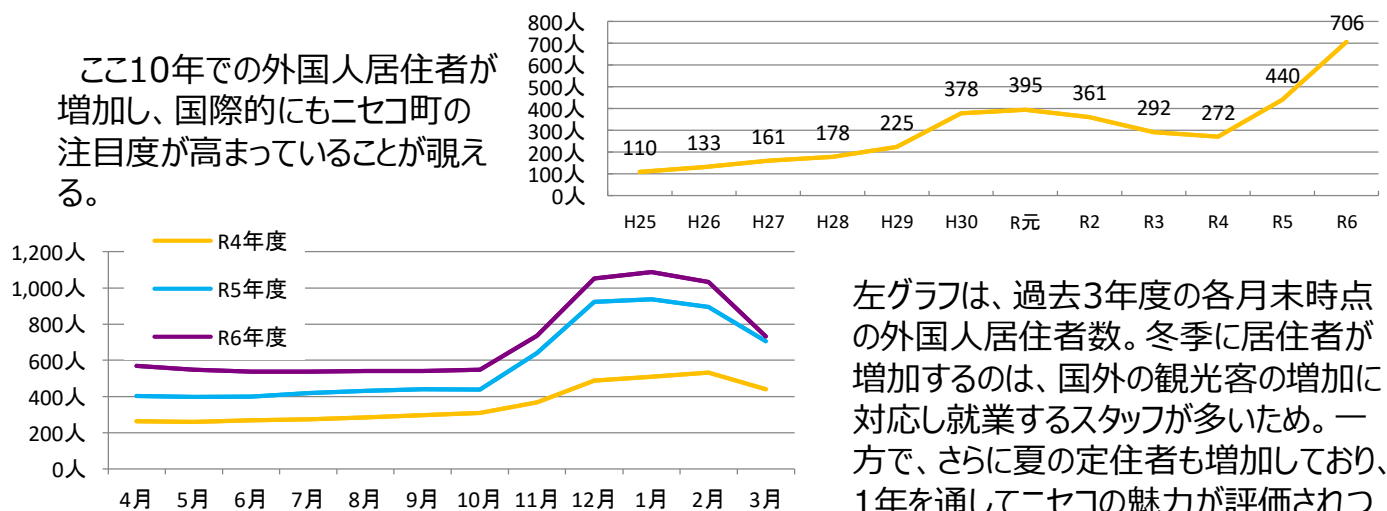
- (1) 純移動率は原則、2010年～2015年に国勢調査（実績）等に基づいて算出された移動率が、2040年以降継続する。
- (2) 合計特殊出生率を1.8に上昇させる。
- (3) 2015年からの10年間で、500人分の住宅整備を目指す
- (4) 「SDGs未来都市計画」に基づき、2022年から2031年までの間に、段階的に約420人が居住する住宅を新たに開発する。



高齢者人口（65歳以上）
生産年齢人口（15～64歳）
年少人口（14歳未満）

外国人住民基本台帳登録者数の推移（各年度末住民基本台帳）

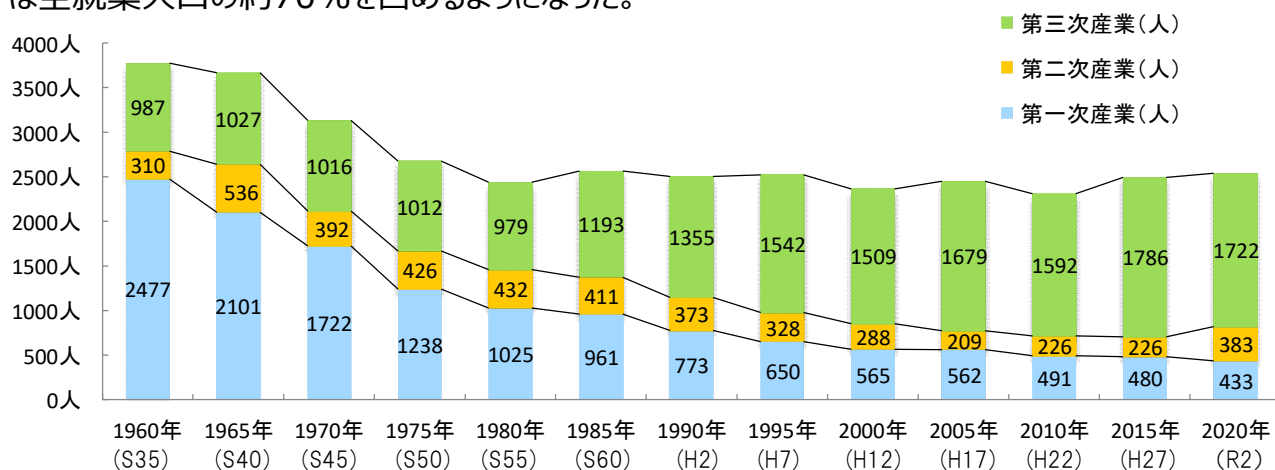
ここ10年での外国人居住者が増加し、国際的にも二セコ町の注目度が高まっていることが見える。



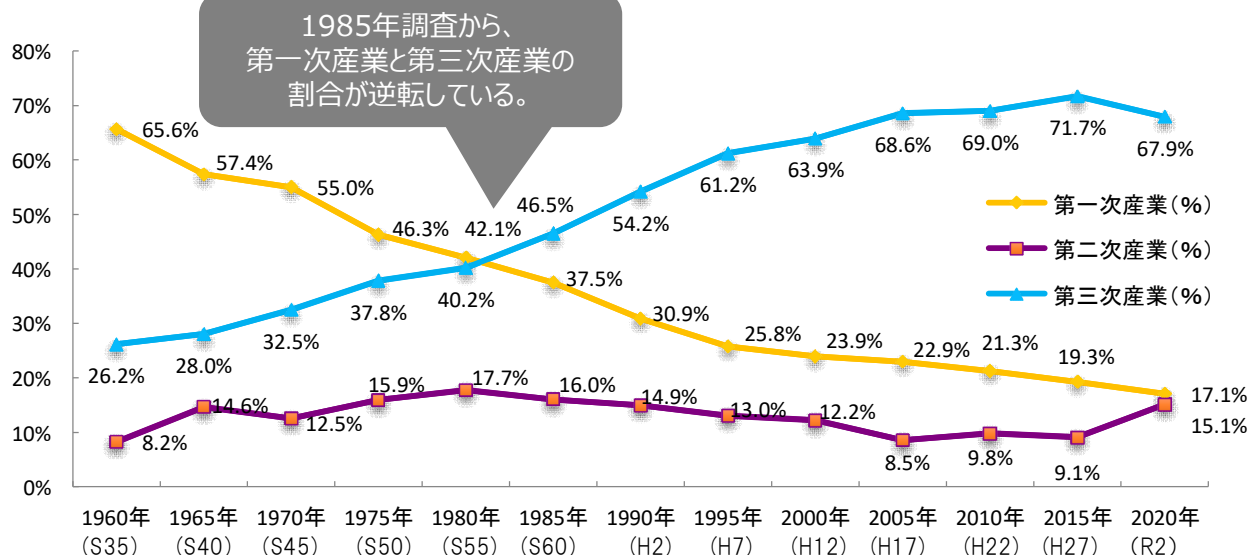
左グラフは、過去3年度の各月末時点の外国人居住者数。冬季に居住者が増加するのは、国外の観光客の増加に対応し就業するスタッフが多いため。一方で、さらに夏の定住者も増加しており、1年を通して二セコの魅力が評価されつつある。

産業別就業人口の推移（国勢調査）

農業を中心とする第一次産業は年々減少している。それに対して1980（昭和55）年まで横ばいであった第三次産業が1985（昭和60）年から増え始め、1990（平成2）年には全就業人口の約70%を占めるようになった。

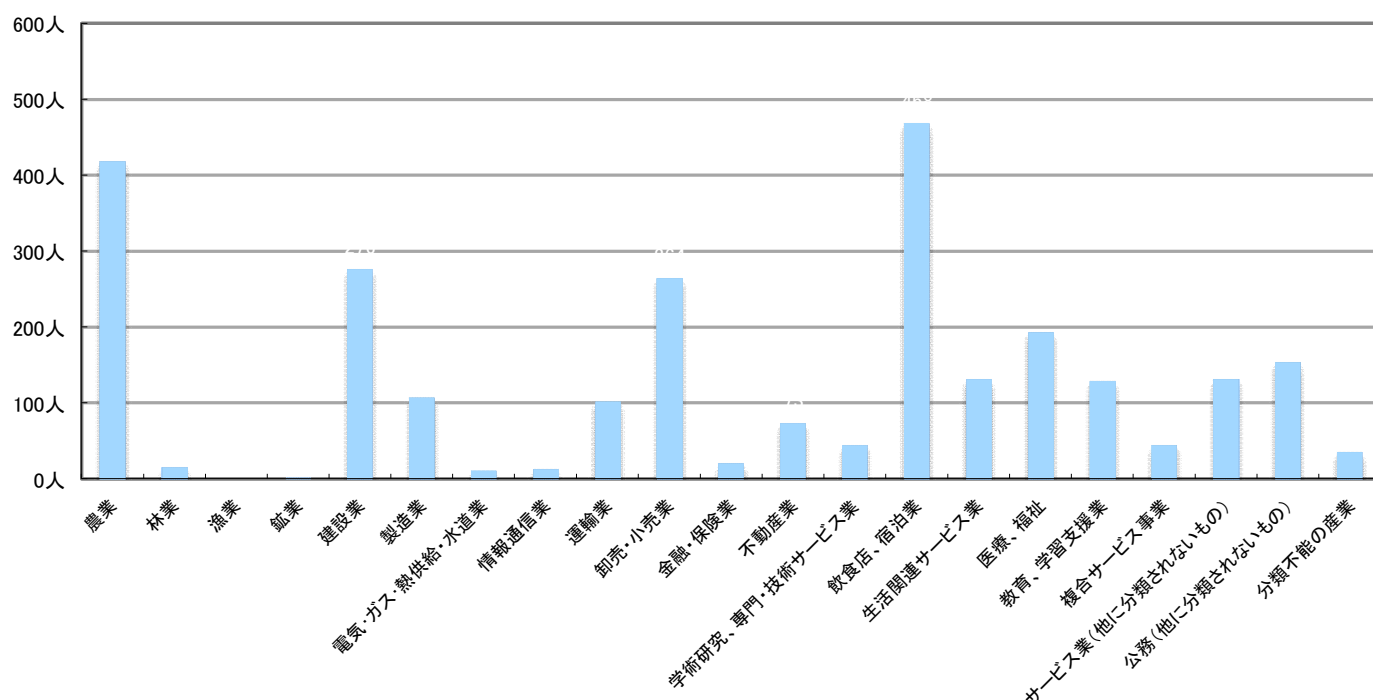


産業別就業人口構成比率の推移（国勢調査）



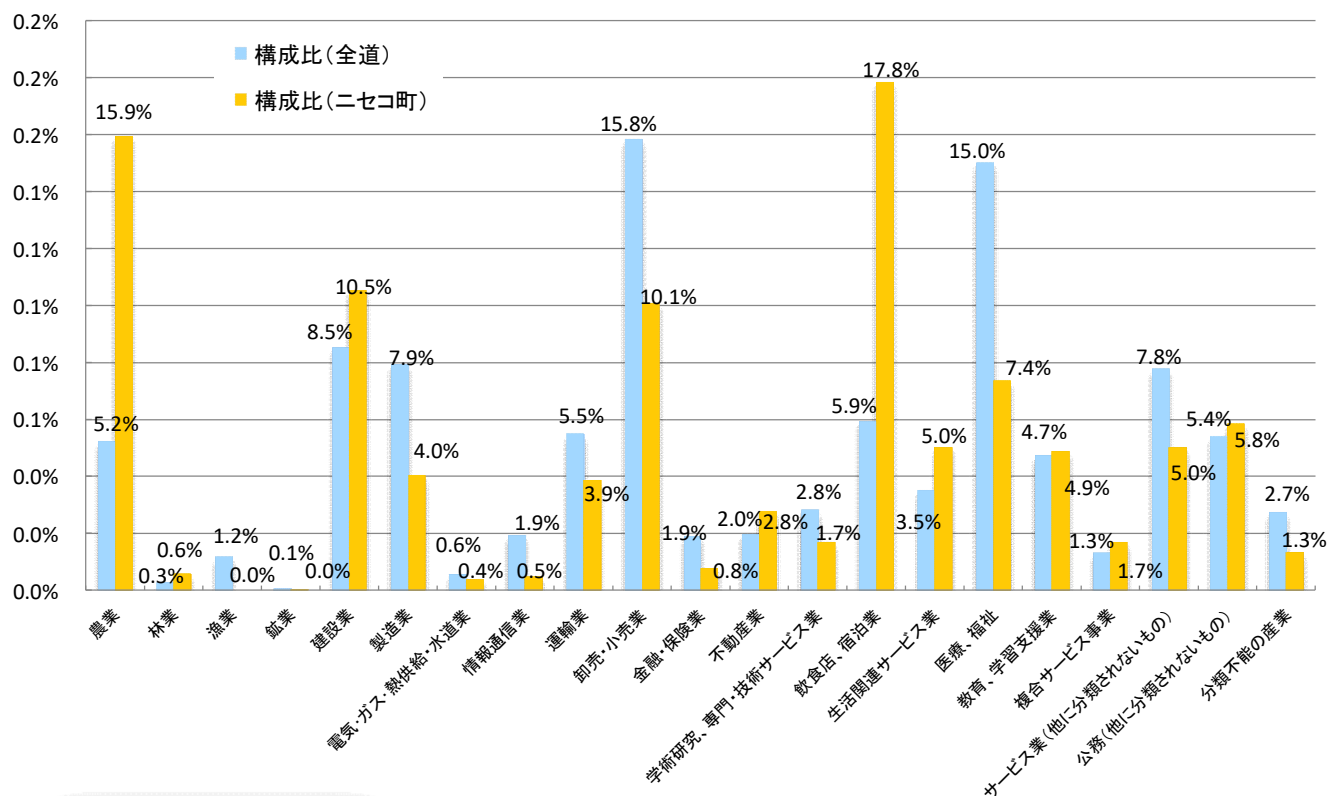
産業別就業人口（2020年国勢調査）

就業人口では、農業・サービス業が多くを占めている。



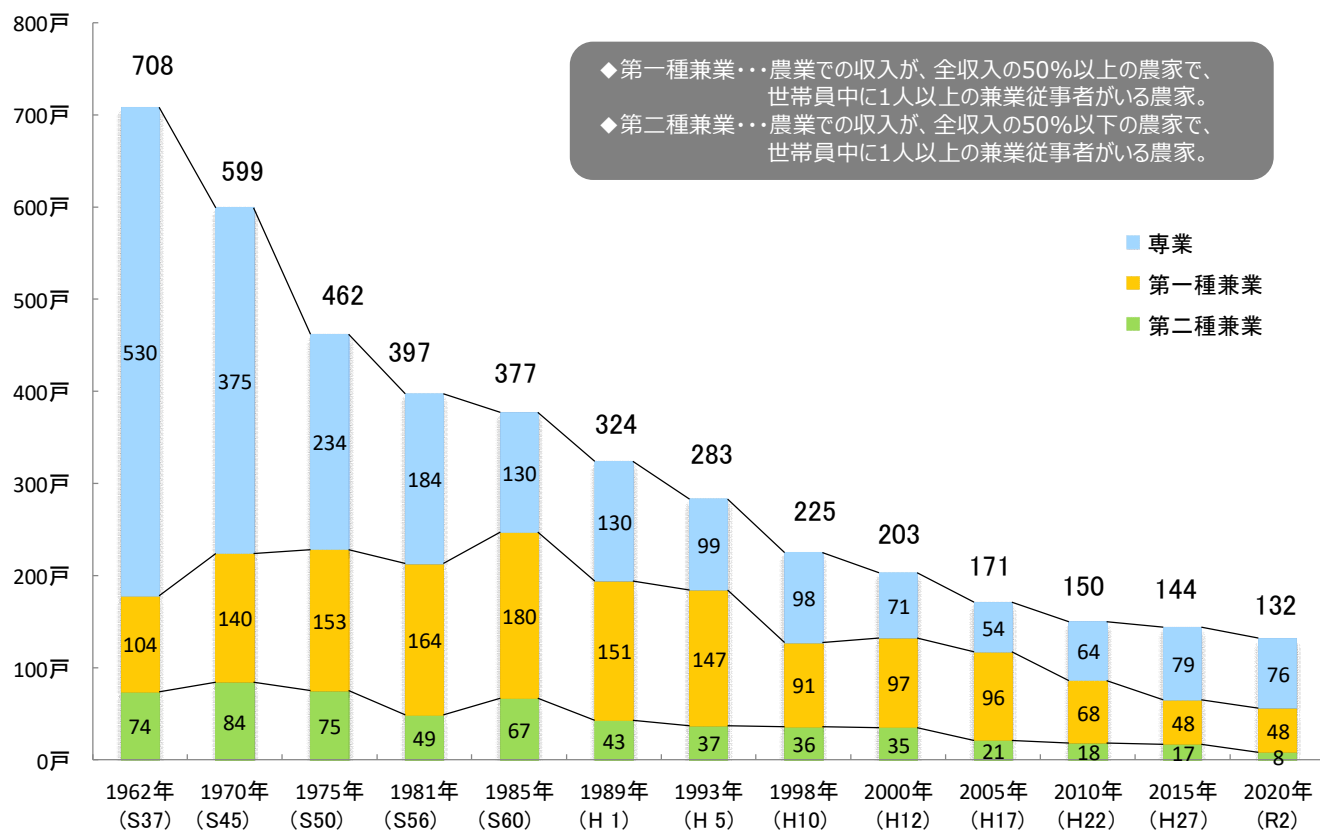
産業別就業人口比率の全道比較（2020年国勢調査）

北海道全体の数値と比較すると、ニセコ町はサービス業と農業の比率が高く、製造業と商業の比率が低いことがわかる。ニセコ町の実業人口面からみた主要産業は農業と、観光を中心としたサービス業の二つである。

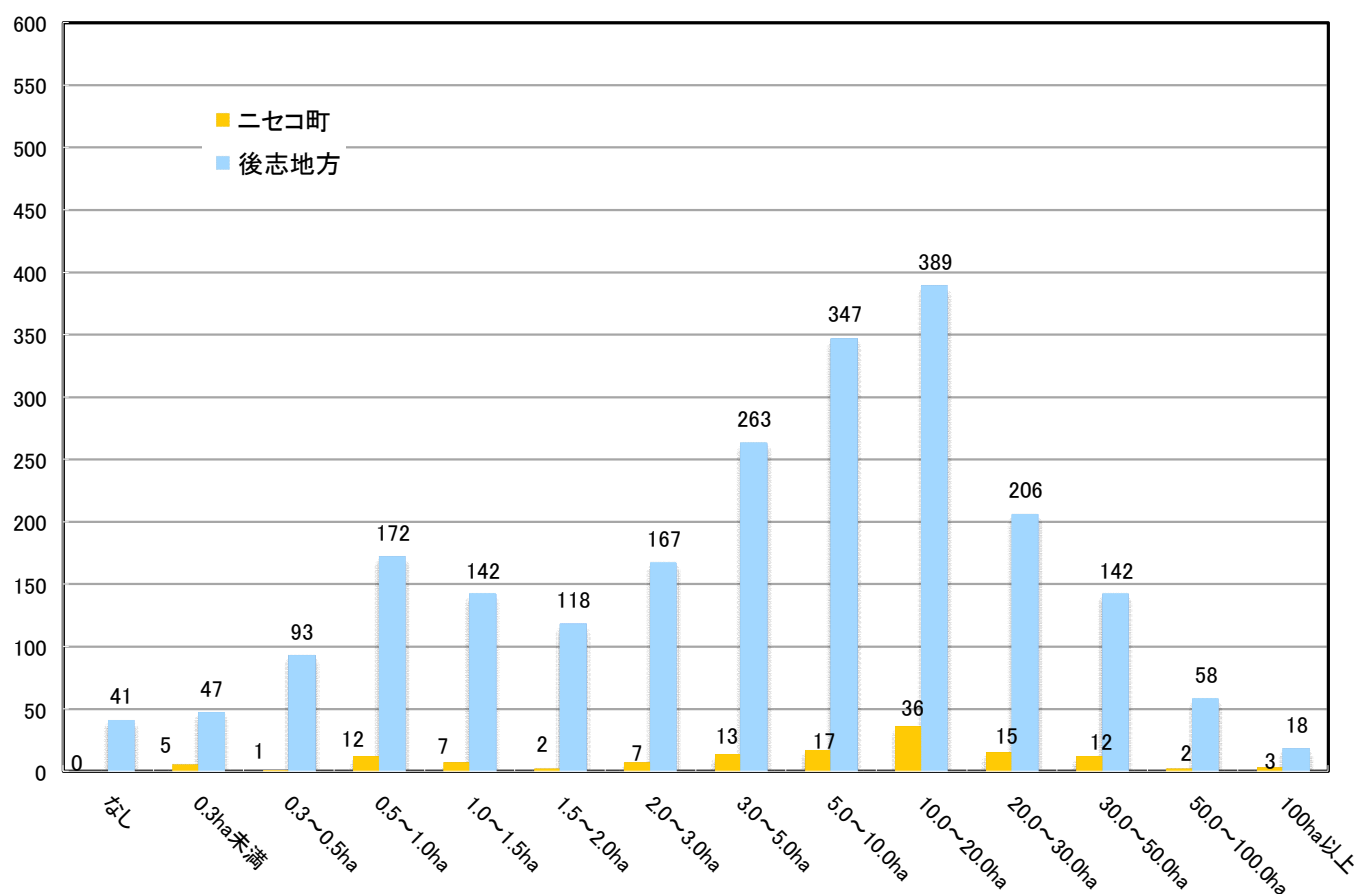


ニセコ町の農業

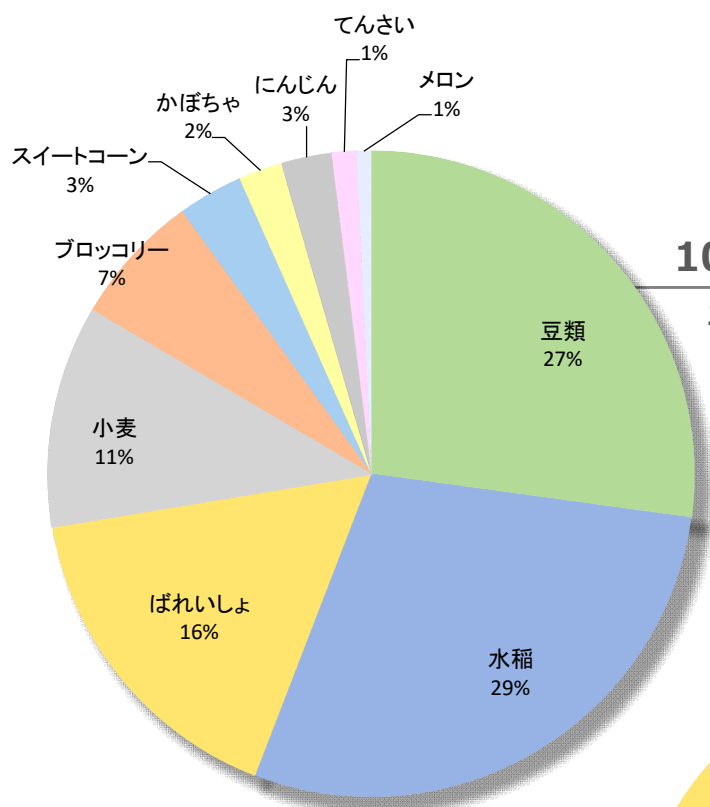
農家数の推移 (世界農林業センサス)



経営耕地規模別経営体数 (2020年世界農林業センサス)



主な農作物の作付面積、収穫量

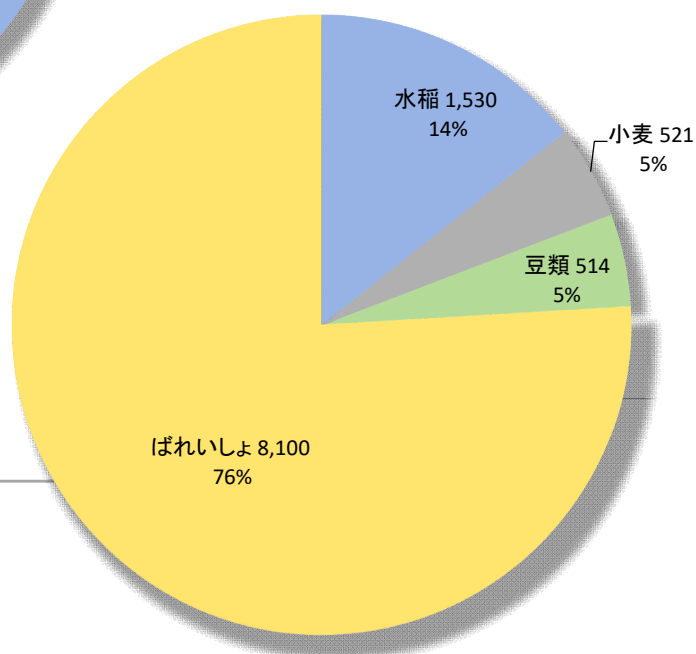


10作物の作付面積1325.11ha

ニセコ町作付け動向調査【2024年町農政課調】

主要4作物の収穫量 10,665 t

北海道農林水産統計年報【R4～R5】



ばれいしょ
収穫の様子

2023年度の主要10作物の総作付面積は1304.23haであり、前年に比べ減少したものの、微増傾向にある。2023年度は豆類の作付面積が増加、水稲の面積が減少し主要10作物で最も高い割合で並んだ。また昨年、作付面積が増加したばれいしょは減少したが、小麦は作付面積が増加している。

2022年度の北海道の主要4作物の収穫量は、水稲は減少傾向にあり、その他3作物はばれいしょを中心に増加傾向にある。

※主要4作物の収穫量データについては、未更新。
統計が更新され次第随時更新予定。

YES! c lean認証件数の動向

YES! c lean（北のグリーン農産物表示）制度は、2000（平成12）年に創設された、農薬や化学肥料の使用を削減と健康な土づくりの取組みを行い、北海道内の農業関係機関で開発・改良された「グリーン農業技術」により生産された農産物を認証するものである。

ニセコ町内では、2集団10作物で、この制度による環境に配慮したクリーンな農産物生産を進めている。

【ニセコ町】

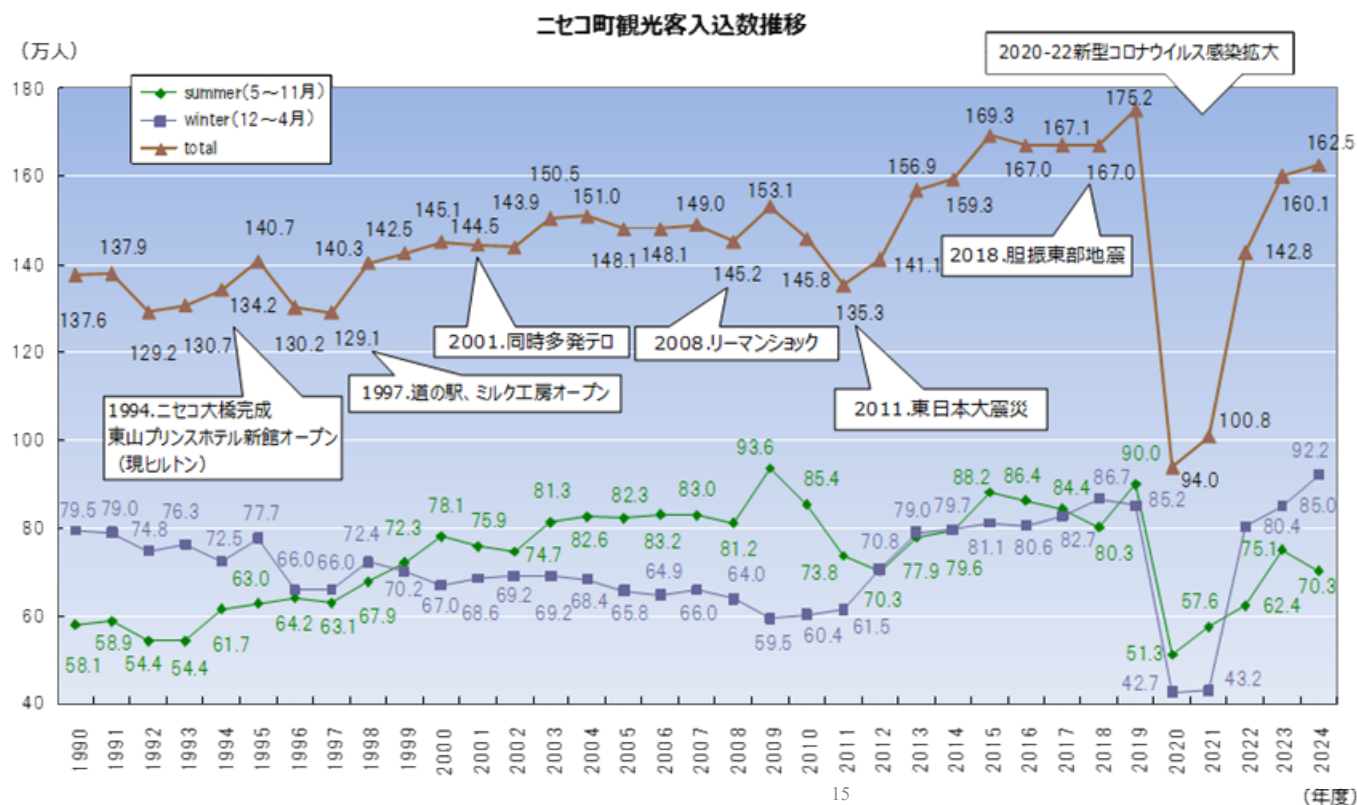
- JAようてい水稻生産組合ニセコ支部
米 27戸（R6：279.66ha作付）
- ニセコビュープラザ直売会ニセコグリーン農業研究会
メロン、トマト、アスパラ、大根（露地春撒き）、
大根（露地夏撒き）、かぼちゃ、ブロッコリー、
にんじん（露地春夏撒き）、馬鈴薯



ニセコ町の観光

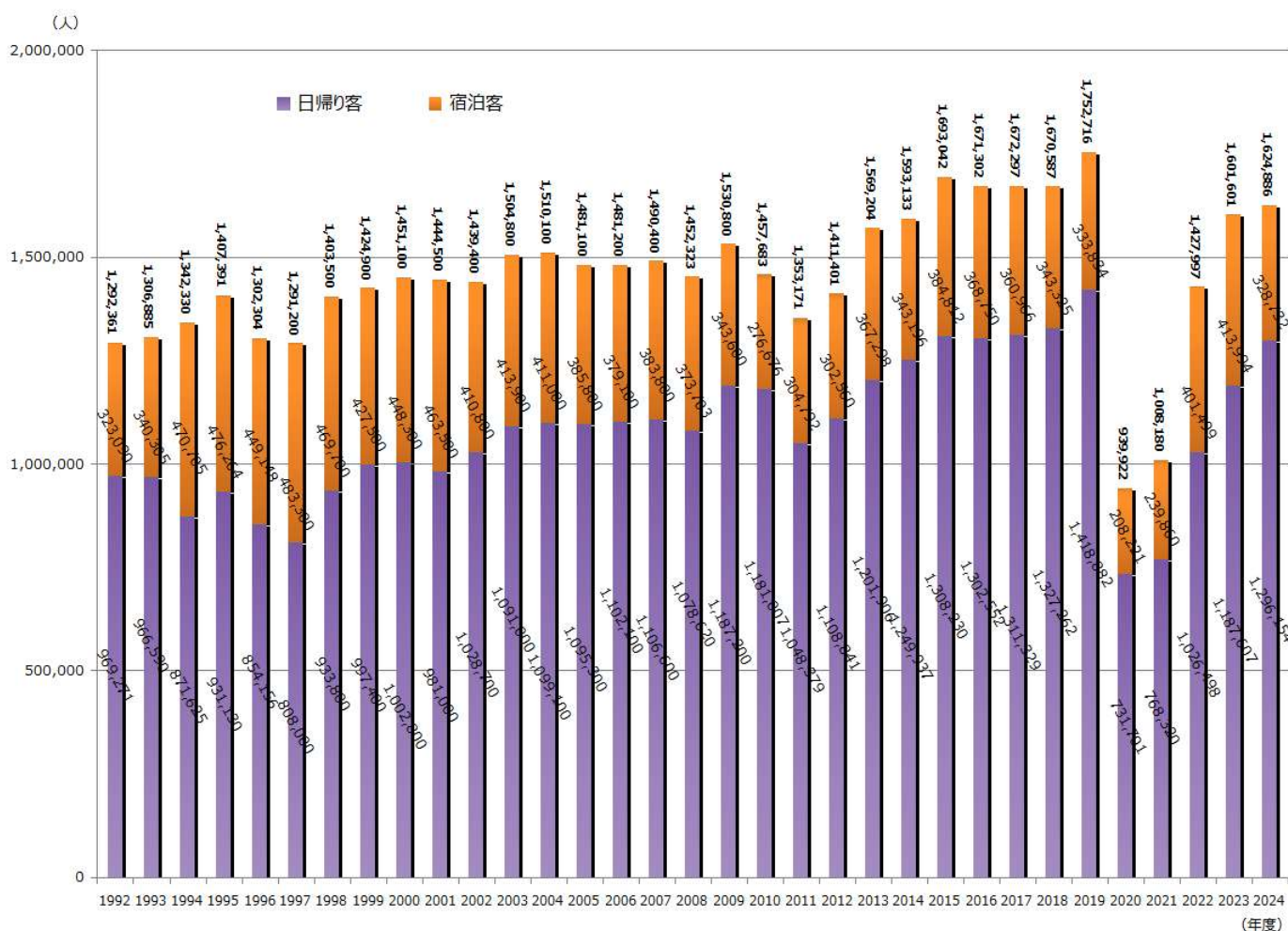
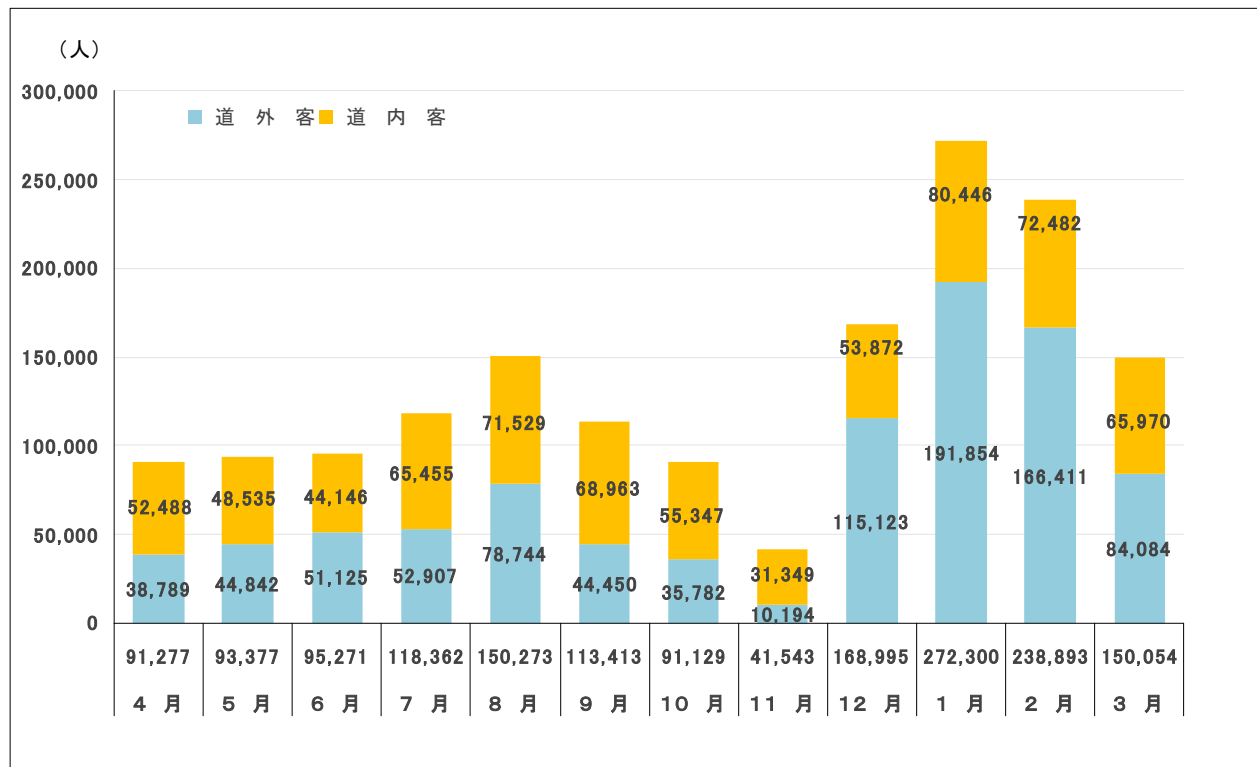
観光客入込数の推移 （ニセコ町商工観光課調べ）

ニセコ町の観光客入込数は、海外からの観光客や道の駅などの入込増加により過去最大級の入込状況にある。季節で見ると、1999(平成11)年度から夏と冬の入込人数が逆転しており、かつてのスキー場中心だったニセコの観光に変化が見られたが、2014(平成26)年以降、ニセコのパウダースノーをはじめとするスノーリゾートの魅力が再び注目を浴び、海外からの冬の入込人数が増加し、2024（令和6）年度の冬の入込は過去最大となった。



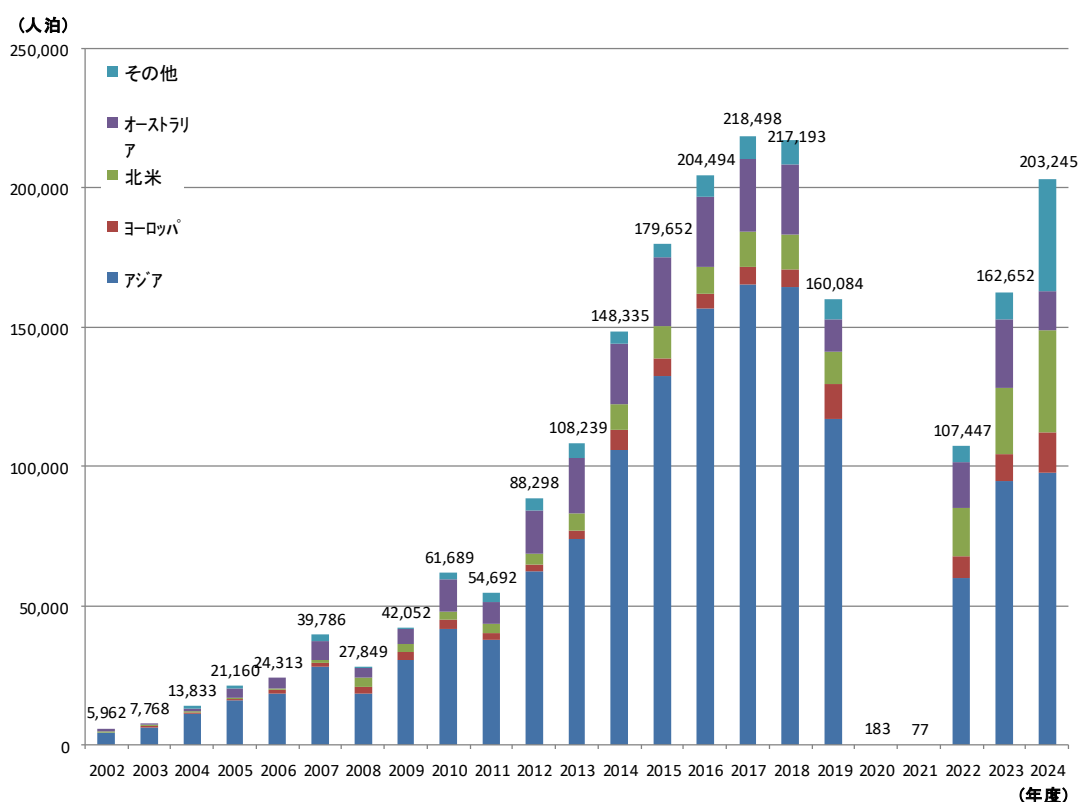
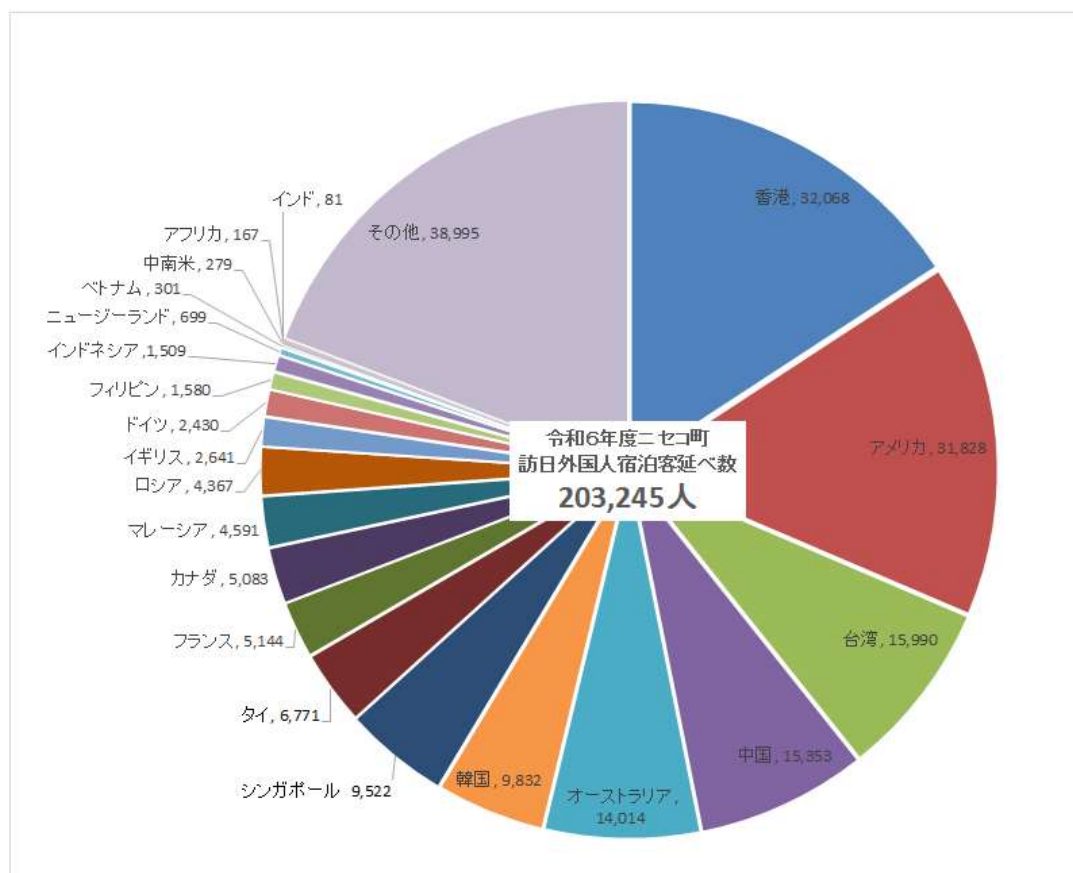
2024（令和6）年度観光客入り込み状況（ニセコ町商工観光課調べ）

ニセコでの観光客入り込み数の特徴は、1月と8月にピークを持つ二峰型である。スキーズンの冬と、様々なアウトドアスポーツを楽しむことができる夏にニセコの魅力を感じる人が多いものと考えられる。またニセコの温泉の魅力も国内外から注目されている。2024(令和6)年度においては新型コロナウイルス前の状況にほぼ回復した。



外国人宿泊客の状況 (ニセコ町商工観光課調べ)

ニセコ町への外国人宿泊客(延べ)数は、不況や災害などによる影響を除くと、右肩上がりで増加してきた。国別の状況を見ると、特にアジア、オセアニアからの来訪者が多く、近年は東南アジアや欧米諸国からの入込も増加している。全国的に好調なインバウンドではあるが、ニセコ町においては、継続的な海外向けのプロモーションやこまめな情報発信などにより、ニセコエリアのスノーリゾートとしての認知度が上がったことが主な要因と推測される。2020(令和2)年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり大幅に落ち込んだが、2024(令和6)年度においてはポストコロナで外国人観光客も多く訪れ、コロナ前水準まで回復している。



二セコ町の社会基盤

水道施設・給水状況 (二セコ町上下水道課調べ)

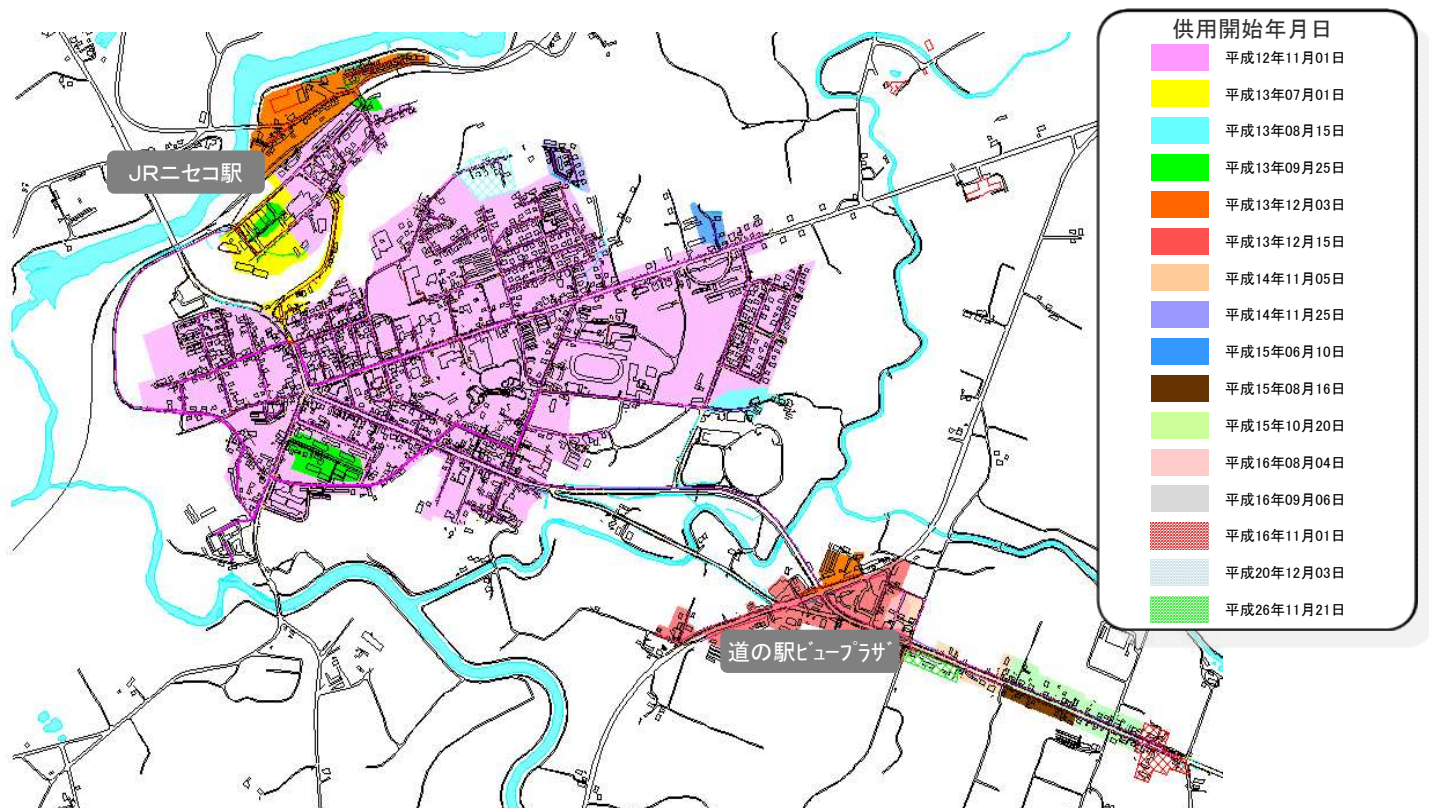
二セコ町内には9つの水道施設があり、水道普及率は2024（令和6）年度末で97%となっている。特に宿泊施設が多く、定住人口の少ない地区では、給水人口あたりの給水量が多い。

区 分	令和6年度給水量 (立方㍎)	給水人口 (人)	1人当たり使用量 (立方㍎)	1人1日当たり 使用量(㍎)
市街地区	364,450	2,710	134.5	368.5
曾我地区	118,478	575	206.0	564.6
宮田地区	28,528	242	117.9	323.0
近藤地区	49,637	509	97.5	267.2
二セコ地区	93,307	214	436.0	1,194.6
桂地区	920	11	83.6	
二セコ温泉郷地区	995	1	995.0	2,726.1
いこいの村地区	24,373	2	12,186.5	33,387.7
福井地区	28,106	306	91.8	251.7
合 計	708,794	4,570	155.1	425.0

公共下水道の普及状況 (二セコ町上下水道課調べ)

二セコ町の公共下水道普及率は、2024（令和6）年度末で44.4%（人口ベース）となっており、2,291人が二セコ町の下水道を利用している。供用開始区域は下記の図面のとおりとなっており、計画区域全体で122.5ha、整備率は92.3%（113.8ha）となっている。

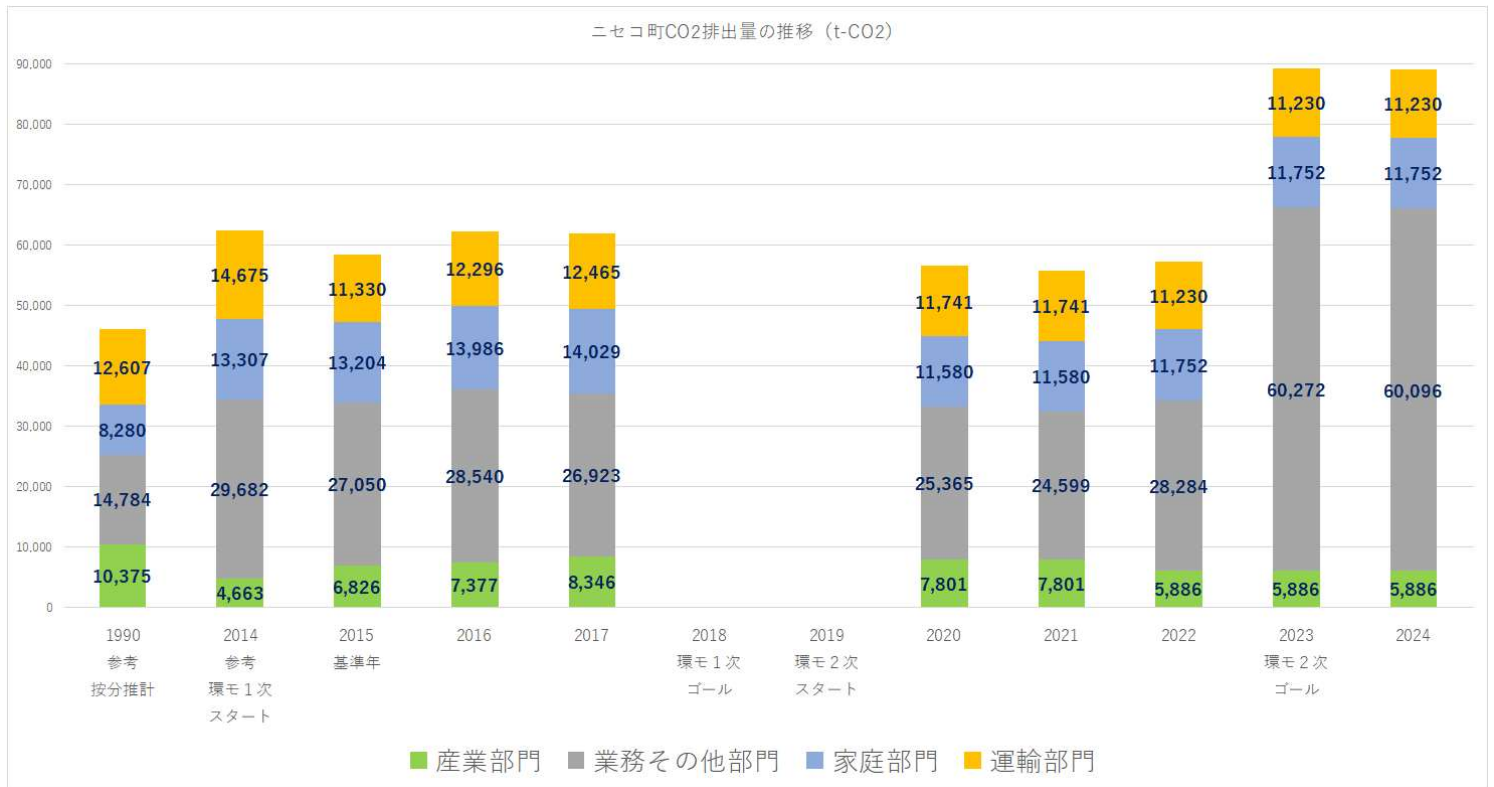
なお、下水道区域以外では、合併処理浄化槽の普及が進むほか、西富地区では農業集落排水施設が整備されている。これらを併せた二セコ町の生活排水処理施設普及率は、約81.1%（人口ベース）となっている。



ニセコ町の環境

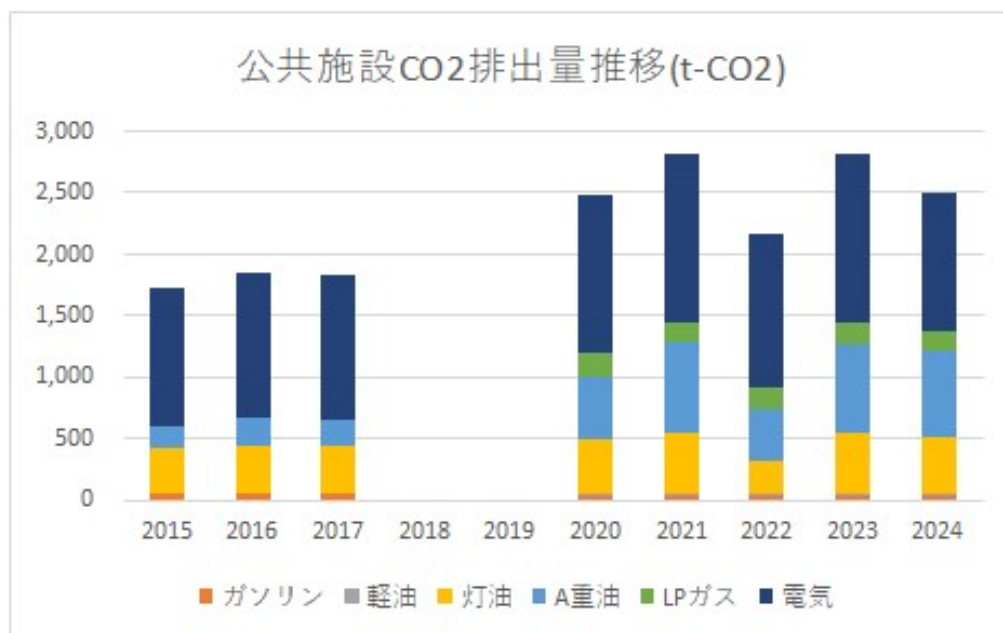
二酸化炭素排出量 （ニセコ町企画環境課調べ）

ニセコ町全域における二酸化炭素排出量から算出。2024年度の排出は、7割強が事業活動（産業と運輸）、3割弱が住民生活（家庭と旅客乗用車）による。合計では8.8万トンで、人口1人あたりの排出量は約17.8- C O₂と日本の全国平均の9.5- C O₂よりも約2割多い。



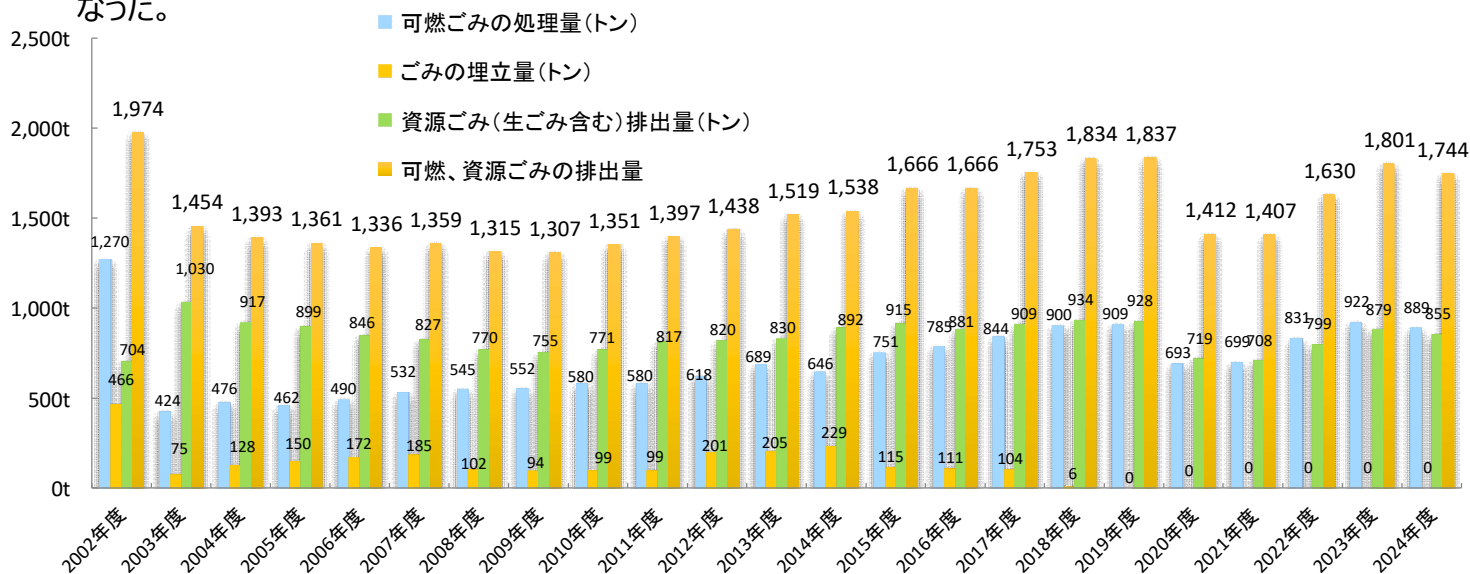
公共施設からの二酸化炭素排出量 （ニセコ町企画環境課調べ）

2015年（基準年）1,712 t - C O₂に対し、2022年2,499 t - C O₂となっている。基準年度と比較すると1.5倍となっており、2024年度は2施設の電気を再生可能エネルギーに代替したため、前年度より電気による排出量が減少している。



ごみ処理 （ニセコ町町民生活課調べ）

ニセコ町では、2002（平成14）年度からごみの有料収集及び、細分化した資源ごみの収集を行っている。2003（平成15）年度、ごみの焼却量は、前年度の約3分の1に減少、ごみの埋立量は、約4分の1に減少した。いずれも多少の増減はあるものの、現在までほぼ横ばいの数値を保っている。また、2015（平成27）年3月から燃やすゴミの固形燃料化処理（RDF化）の開始により、ごみ焼却灰の埋め立てがなくなったことから埋立量が大幅に減少しており、さらに、2018年（平成30）年4月からは、民間施設でのごみの最終処分を始めたことから、埋め立て量はほぼ無くなった。

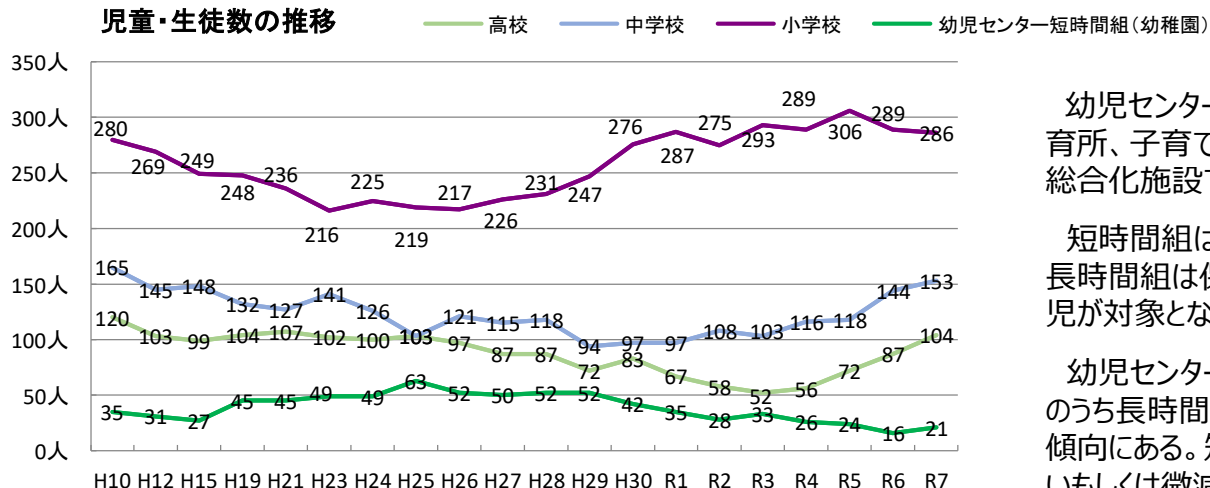


ニセコ町の教育

学校状況等 （2025（令和7年）5月1日現在 学校基本調査、ニセコ町調べ）

学 校 名	学級数	生徒・児童総数	生徒・児童数（男）	生徒・児童数（女）	教員数
ニセコ高等学校	4	104	59	45	19
ニセコ中学校	5	153	88	65	16
ニセコ小学校	10	238	133	105	27
近藤小学校	4	48	21	27	9
幼児センター（短時間組）	7	21	9	12	23
幼児センター（長時間組）		125	56	54	
北海道インターナショナルスクール・ニセコ校	9	38	16	22	9

児童・生徒数の推移



幼児センターは、幼稚園と保育所、子育て支援センターの総合化施設である。

短時間組は従来の幼稚園、長時間組は保育所に通う幼児が対象となっている。

幼児センターへ通う幼児数のうち長時間組は、年々増加傾向にある。短時間組は横ばいもしくは微減傾向にある。

2023（令和5）年度 決算状況

一般会計

歳入	決算額(千円)	構成比
町税	1,037,958	18.1%
地方譲与税	59,432	1.0%
利子割交付金	223	0.0%
配当割・株式譲渡所得等交付金	4,420	0.1%
地方消費税交付金	134,693	2.4%
ゴルフ場利用税交付金	3,828	0.1%
環境性能割交付金	5,601	0.1%
法人事業税交付金	10,640	0.2%
地方特例交付金	2,141	0.0%
地方交付税	2,488,050	43.4%
交通安全対策特別交付税	641	0.0%
分担金及び負担金	21,921	0.4%
使用料及び手数料	162,258	2.8%
国庫支出金	536,322	9.5%
道支出金	279,666	4.9%
財産収入	31,115	0.5%
寄附金	89,614	1.6%
繰入金	78,778	1.4%
繰越金	188,477	3.3%
諸収入	164,499	2.9%
町債	419,782	7.3%
歳入合計	5,720,059	100.0%

歳出	決算額(千円)	構成比
(款別)		
議会費	51,927	1.0%
総務費	1,010,807	18.6%
民生費	837,092	15.4%
衛生費	572,312	10.5%
労働費	2,105	0.0%
農林水産業費	355,481	6.5%
商工費	229,711	4.2%
土木費	791,742	14.6%
消防費	173,642	3.2%
教育費	711,823	13.1%
災害復旧費	18,478	0.3%
公債費	682,598	12.6%
(主な性質別)		
人件費	1,068,744	19.7%
経常的経費	4,368,974	80.3%
投資的経費	554,193	10.2%
歳出合計	5,437,718	100.0%

特別会計

会計	歳出 決算額(千円)
国民健康保険事業	212,697
後期高齢者医療事業	63,119
簡易水道事業	685,997
公共下水道事業	267,048
特別会計合計	1,228,861

主要な財政指数

標準財政規模	3,206,096千円
財政力指数	0.29
経常収支比率	87.6%
(連結)実質赤字比率	赤字なし
実質公債費比率	4.2%
将来負担比率	37.9%
資金不足比率	赤字なし
基金残高(全会計)	1,926百万円
地方債残高(全会計)	8,548百万円
ラスパイレス指数	95.8%

ニセコ町の予算、詳しい財政状況については、予算説明書「もっと知りたいことしの仕事」やホームページをご覧ください。

◆財政状況 <https://www.town.niseko.lg.jp/chosei/zaisei/>

※町外にお住まいの方は、(株)ニセコリゾート観光協会にてお買い求めいただけます。
(1冊1,100円となります。)

◆お申し込み先

(株)ニセコリゾート観光協会

〒048-1502 虻田郡ニセコ町字元町77番地10

電話 0136-43-2051 FAX 0136-43-2052

E-Mail master@niseko-ta.jp

ホームページ <http://www.niseko-ta.jp/>



ニセコ町のあゆみ ～ニセコ年表～

年	月	出来事
1895（明治28）		本町初の移住者、清川孫太、岩上判七ら西富に入地する。
1896（明治29）	12	松岡善五郎、移民142人を率い入地する。（松岡農場）
1897（明治30）	5	本町最初の教育施設として近藤農場に簡易教育所ができる。
	7	虻田村より分村し真狩村（現在の留寿都村）の区域に入る。
1899（明治32）	7	有島武が婿山本直良の名義で90万坪の貸下をうける。（有島農場）
1900（明治33）	4	吉川銀之丞、石狩幌向より小作人4戸と共に有島農場に入地する。この頃、松岡農場大半開墾に成功し、遠近の規範農場となる。
	9	元町より倶知安まで（13.7km）道路工事着手。
1901（明治34）		昆布、倶知安間国道工事始まる。
	11	真狩村より分村独立、真狩村字真狩別太の狩太をとり狩太村と名付けられ戸長役場を元町に置く。（初代村長村上元治）
	12	狩太郵便局開設。（局長、深貝謙太郎）元町と西富に駅通できる。
1902（明治35）	1	村総代人に佐村義介、吉川銀之丞当選。
	4	元町に劇場狩太座できる。
	10	村医、山崎喜一郎着任。狩太第一尋常小学校（現近藤小学校）開校。生徒60人。尻別川（川北～市街）に渡船できる。人2銭。馬5銭。
1903（明治36）	4	ルベシベ（宮田）に試作水田約4畝造田される。
	5	倶知安第四尋常小学校附属ニセコアン簡易教育所開設。（曾我小学校前身）
	7	狩太巡査出張所設置、大村栄太郎着任。
1904（明治37）		松岡陸三、社地700坪を献じ神社奉斎する。（狩太神社の始め）
	5	狩太第二尋常小学校開校。（現宮田小学校）
	10	北海道鉄道開通。（現函館本線、函館～小樽間）
1905（明治38）	3	狩太村巡査駐在所できる。
	4	戸長役場を新市街に移す。倶知安第四尋常小学校附属藤山特別教育所開設。（藤山小学校前身）
	5	狩太第三尋常小学校開校。（福井小学校）
	12	狩太第四小学校新市街に開校。（現農協所在地、今のニセコ小学校）
1906（明治39）	4	2級町村制実施される。初代村長、西村数省（村議15名）
	11	ルベシベ（宮田）青年会できる。（会長、梶藤四郎、青年会の始め）
1907（明治40）	5	富塚九平、製作所を始める。
	8	帝国製麻株式会社狩太工場操業開始。（大正13年工場閉鎖。）
	11	曾我青年会できる。昆布より西富、桂台を経て弁辺村会に至る道路開通。
1908（明治41）	7	羊蹄山、5日間燃える。
	10	橋本某、名無川にて水車を始める。
1909（明治42）	5	消防組できる。
1910（明治43）	3	ニセコアン（ニセコ、曾我）一帯が倶知安村から狩太村に併合される。
	5	元町郵便局ができる。
1911（明治44）		寿都銀行支店できる。（後の道銀支店）
1913（大正2）		大凶作
1914（大正3）	4	有島武郎、佐村農場を買い取り第二有島農場となる。
	7	旧市街で草競馬開催。
1915（大正4）	4	狩太商工会創立。
	6	忠魂碑建立除幕式。
1917（大正6）		守屋商店付近に劇場旭座できる。（昭和4年1月焼失）近藤農場で鉄鉞採掘然別に移出する。（2年間操業）
1918（大正7）		狩太、留寿都間に乗合馬車。
	3	市街地に電話開通する。
1920（大正9）	3	狩太村青年団できる。（16支部）
1921（大正10）	7	王子製紙工業株式会社尻別第一発電所完成。

年	月	出来事
1922 (大正11)	6	有島寄付の2町歩をグラウンドにする。(現ニセコ小学校グラウンド)
	7	有島武郎、小作人を集会所に集め450町歩の「農業解放宣言」を行う。
	9	宮田ルベシベ処女会結成。(女子青年団活動の始め)
1923 (大正12)		この年から豊里、元町、有島で酪農が始まる。
1924 (大正13)	8	有島農場解放記念碑建立。
1925 (大正14)	4	弁辺村(現豊浦町)から中昆布、柳の沢、桂の沢一帯を分割、狩太村に合併される。
		狩太、留寿都間5人乗自動車走る。北富士自動車会社の全身。(昭和18年道南バスに吸収)
1926 (大正15)	11	第二王子発電所完成。
1927 (昭和2)	2	私立王子第二小学校開校。(昭和16年公立王子小学校となる)
1928 (昭和3)	3	秩父宮殿下ニセコに御来遊。
	11	狩太信用購買販売利用組合創立。(昭和19年1月1日命により解散)
1929 (昭和4)	11	北海道製酪販売連合会狩太工場設立。(雪印乳業株式会社狩太工場の前身)
1931 (昭和6)		大凶作
	12	狩太村立病院開設。
1933 (昭和8)	8	村の紋章告示。
	9	狩太商業組合創立。(昭和34年1月27日解散)
1934 (昭和9)	1	狩太尋常高等小学校全焼する。
1936 (昭和11)	9	秩父宮殿下御来遊。
1937 (昭和12)	4	字地番改正。狩太、真狩間植民軌道運転開始。(昭和25年8月運行中止、28年廃止)
1939 (昭和14)	12	後志生産連狩太孵卵場できる。(昭和40年6月廃止)
1940 (昭和15)		ニセコで今井鉾山鉄鉾の採掘開始。(終戦とともに閉鎖)
	11	北海道電力株式会社比羅夫発電所創業。
1941 (昭和16)	9	株式会社後志澱粉工業所設立。
1943 (昭和18)		狩太、留寿都間道南バス運行される。
	11	農村電灯設備を初めて西山部落に施設する。
1944 (昭和19)	5	狩太製材工場できる。
	10	狩太土管製作所創業。
1946 (昭和21)	5	特別指導村から普通村に昇格する。
	12	農地改革始まる。
1947 (昭和22)	4	桂小学校廃校。
	5	学制改革により狩太、近藤、福井、桂の各中学校開校。
1948 (昭和23)	3	狩太農業協同組合設立認可。狩太農業共済組合設立。
	8	狩太村開拓農業協同組合設立。(昭和45年12月解散)
	10	狩太高等学校開校。(倶知安農業高等学校狩太分校として)
1949 (昭和24)	3	高松宮、三笠宮両殿下ニセコに御来遊。
1950 (昭和25)	4	後志信用金庫狩太支店できる。
	5	羊蹄山が国立公園に指定される。(支笏洞爺国立公園)
	8	「ニセコ」が道立公園に指定される。
	9	町制施行される。(初代町長、鈴木五十治) 開村50周年記念式典を併せて行う。
1951 (昭和26)	7	狩太、倶知安間道南バス運行。
	9	東大、駒井和愛博士一行、滝台、北栄のストーンサークルを発掘調査する。
1954 (昭和29)	7	拓銀狩太支店が道銀支店と名称変わる。(昭和43年11月閉鎖)
	8	天皇、皇后両陛下御来町。(奉迎場狩太小学校校庭、観光ホテルに御二泊)
1955 (昭和30)	2	狩太有線放送開始。
1956 (昭和31)	5	雪印乳業株式会社狩太工場落成。(昭和51年3月閉鎖)
1957 (昭和32)	5	有島農場管理事務所焼失する。
	7	狩太町体育協会できる。
1958 (昭和33)	11	ニセコ昆布温泉、ニセコ五色温泉郷国民保養温泉地に指定される。
1959 (昭和34)	7	狩太町公認グラウンド完成。(1周300m)
1960 (昭和35)	10	国保町立病院新築。(昭和41年3月廃止)
	11	市街地に簡易水道施設布設。狩太町史刊行。

年	月	出来事
1961（昭和36）	3	王子小学校、狩太小学校に吸収統合。
1963（昭和38）	7	ニセコ山系、ニセコ積丹小樽海岸国定公園に指定される。
1964（昭和39）	8	公民館完成。
	10	「狩太町」を「ニセコ町」に町名改称する。
1966（昭和41）	7	町民体育館完成。
	11	役場新庁舎完成。
	12	太平洋クラブニセコモイワ国際スキー場開設。有線放送電話施設開設、通話開始。
1967（昭和42）	4	町内中学校統合。（近藤、福井、ニセコ各中学校）
	6	役場新庁舎落成式。
	7	開基70周年記念式典挙行。
1968（昭和43）	3	曾我小学校、ニセコ小学校に吸収統合。
	4	駅名、「狩太駅」を「ニセコ駅」に改名する。
	5	町章制定。
1969（昭和44）	8	統合ニセコ中学校校舎完成。（3ヶ年計画）
1971（昭和46）	3	過疎地域市町村に指定される。
1972（昭和47）	2	ニセコ町振興公社設立。（昭和48年7月ニセコ町土地開発公社となる。）
	8	国民保養センター芙蓉荘完成。
	9	町営牧野造成完成。
	10	町立保育所完成。
	11	ニセコアンヌプリ国際スキー場開設。
1973（昭和48）	11	「町民憲章」及び「ニセコ町の歌」制定。
1974（昭和49）	9	ニセコ町民センター完成。
1976（昭和51）	2	ニセコ町出身の出口弘之選手がインスブルックオリンピック・バイアスロンに出場。
	3	ニセコ、蘭越町学校組合解散。（桂中学校廃校）
	9	新消防庁舎完成。
1978（昭和53）	2	新 有島記念館完成。
	8	ニセコ町、マキノ町姉妹都市提携を結ぶ。
	10	農村情報連絡施設同報無線開局。
1979（昭和54）	4	町木「しらかば」と決まる。
1980（昭和55）	2	ニセコ町の出口弘之選手がレークプラシッドオリンピック・バイアスロンに出場。
	2	ニセコ町総合体育館完成。
	11	全天候型テニスコート（2面）完成。
1981（昭和56）	3	藤山小学校、ニセコ小学校に吸収統合。
	10	開基80周年記念式典、総合体育館落成式挙行。
	11	「ニセコいいいの村」オープン。
1982（昭和57）	3	ニセコ町史発刊。ニセコ町新総合計画策定。
	12	東山スキー場、東山プリンスホテルオープン。ニセコ小学校新校舎完成。
1983（昭和58）	6	土づくり10年計画開始。
1984（昭和59）	2	ニセコ町出身の出口弘之選手がサラエボオリンピック・バイアスロンに出場。
	2	ポテト共和国独立宣言。
	11	町立ニセコ幼稚園完成。
1985（昭和60）	3	信州新町と姉妹都市提携を結ぶ。
	7	マキノ、ニセコ駅姉妹駅提携を結ぶ。
	11	ニセコ小学校開校80周年記念式典。
	12	特別養護老人ホーム「ニセコハイツ」完成。
1987（昭和62）	11	有島記念公園・サホーク牧場完成。
1988（昭和63）	2	アンヌプリ地区地熱開発事業により温泉湧出。
	4	ニセコ大橋建設工事に着手。
	12	スキー列車「ニセコエクスプレス」運行開始。
1989（平成元）	6	ニセコ町集約牧草地（字黒川）開設。
		有島カルチャーセンターオープン。
	10	町名改正25周年、町制施行40周年記念式典開催。

年	月	出来事
1990（平成2）	1	平成元年度優良町村表彰受賞。
	3	福井小学校閉校。
	5	SL・C62ニセコ号、小樽ニセコ間運行。（平成7年運行中止）
	8	ニセコ町運動公園野球場オープン。 「ニセコ赤坂奴」町無形民族文化財に指定される。
	11	宮田小学校新校舎完成。
1991（平成3）	10	ニセコ町開基90周年記念式典挙行。 町の花にラベンダー、鳥にアカゲラが制定される
	12	ニセコ高校新校舎完成。ニセコヘリポート完成。
1992（平成4）	12	オフトーク通信運用開始。 近藤小学校新校舎完成。
1994（平成6）	9	ニセコ町運動公園完成。
	11	ニセコ大橋完成。
1995（平成7）	12	望羊団地(8棟72戸)完成。
	3	有島アートギャラリー完成。
	4	マイウェアワロード事業着工
	8	市街地区下水道着工。
	10	中央地区地熱開発事業再調査により温泉湧出。
1996（平成8）	12	曾我森林公園完成。
	1	曾我地区簡易水道完成。
	4	ニセコ綺羅街道街並み整備事業着工。
1997（平成9）	12	のぞみ団地(2棟20戸)完成。
	3	ディサービスセンター在宅介護支援センター完成。
	3	ニセコ医院新築工事完成。
	5	道の駅「ニセコビュープラザ」オープン。
	8	市街地区下水道処理施設着工。
1998（平成10）	11	地方自治法施行50周年記念自治大臣表彰受賞。
	2	綺羅団地(2棟20戸)完成。
	2	毎日新聞地方自治大賞奨励賞受賞。
1999（平成11）	4	ニセコ町情報公開条例及びニセコ町個人情報保護条例施行
2000（平成12）	2	本通A団地(単身者用、2棟12戸)完成。
	10	市街地区にて下水道が利用可能となる。
	12	本通A団地(1棟16戸)完成。
2001（平成13）	4	ニセコ町まちづくり基本条例施行。
	6	ニセコ駅前温泉「綺羅乃湯」(きらのゆ)オープン。
	9	公共施設間の光ファイバ接続を完了
	10	開基100年記念式典。
		綺羅街道が北海道の野外広告コンクール「北海道知事賞」を受賞。
2002（平成14）	2	道道岩内洞爺線拡幅工事完了。
	4	町内循環バス「ふれあいシャトル」運行開始。
	6	ニセコ花フェスタ綺羅街道開催。
	9	近藤小学校開校100周年記念式典
	10	ゴミ有料化開始。 綺羅街道が全国にて都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」を受賞。
	12	一般廃棄物最終処分場完成。
2003（平成15）	12	堆肥センター完成。
	4	ニセコ町学習交流センター「あそぶっく」オープン。
	9	倶知安町・ニセコ町合併協議会設置。
	9	ニセコリゾート観光協会株式会社化
	11	宮田小学校開校100周年記念式典

年	月	出来事
2004（平成16）	1	有島記念館と長野県信州新町（現長野市）の有島生馬記念館、鹿児島県薩摩川内市のまごころ文学館と姉妹館提携
	6	福井地区簡易水道利用開始。
	9	西富地区で下水道（農業集落排水施設）が利用可能となる。
	9	ニセコ町ふるさとづくり寄付制度開始。
	12	字曾我・ニセコ・東山地区で光ファイバーによる高速通信サービス開始。
2005（平成17）	12	蘭越町・ニセコ町・真狩村・喜茂別町・倶知安町合併協議会解散
2006（平成18）	2	ニセコ町出身の吉岡大輔選手が、トリノオリンピック・スキーアルペン競技に出場。
	3	宮田小学校閉校
2007（平成19）	4	ニセコ町幼児センター「きらっと」オープン。
2008（平成20）	5	町内循環バス「ふれあいシャトル」自転車車外積載運行開始（全国初）
	7	北海道洞爺湖サミット開催。
	10	字富士見・本通・中央通・元町・有島・近藤・里見・富川・豊里・羊蹄で光ファイバーによる高速通信サービス開始。
2009（平成21）	3	アンヌプリ山麓1,206ha（字曾我・ニセコ・東山の一部）に準都市計画区域が指定される。
	8	新・学校給食センター運用開始。
2010（平成22）	4	乳幼児～中学生までの医療費無料化実施。
	5	ニセコ町の新しいロゴマーク完成。
	6	ようてい地域消費生活相談窓口がニセコ町役場に設置される。
2011（平成23）	9	北海道大学観光学高等研究センターと学術・地域振興等に関する連携協定締結。
	2	字近藤・羊蹄・里見・宮田・富川・黒川・福井・西富・桂台で光ファイバーによる高速通信サービス開始。
	4	黒松内町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町による「ニセコ周辺地域産業活性化基本計画」が国の同意を得る。
2012（平成24）	5	ニセコ町地下水保全条例及びニセコ町水道水源保護条例施行。
	1	北海道インターナショナルスクール・ニセコ校開校。
	2	株式会社北洋銀行と経済の活性化事業等の連携及び協力に関する協定締結。
	3	FMラジオ局「ラジオニセコ」開局。
	4	ニセコ町民センターリニューアルオープン。
2013（平成25）	9	平和首長会議加盟
	10	ニセコ町デマンドバス「にこっとBUS」運行開始。
	1	北海道日本ハムファイターズの吉川光夫選手と植村祐介選手が1年間ニセコ町の応援大使に就任。
	5	北海道日本ハムファイターズとの3年間のパートナー協定締結。
		町税、上下水道料金のコンビニ収納開始。
2014（平成26）	6	ニセコTMRセンター完成。
		ニセコ町五色温泉インフォメーションセンターオープン。
	10	字里見に、JAようてい雪利用米穀貯蔵庫完成。
	11	福島県国見町との「災害時相互応援協定」締結。
	2	「JAPAN SPORT NETWORK」-「スポーツのカ」共同宣言署名。
	3	「環境モデル都市」に選定される。（全国で23都市）
	5	環境自治体会議ニセコ会議開催。
	7	グループホーム「きら里」オープン。
		「ニセコ観光圏」（蘭越町・倶知安町・ニセコ町）に認定される。（全国で10地域）
	10	町名改正50周年式典挙行。
		国営緊急農地再編整備事業計画確定。
	11	「ニセコ町ワイン特区」として認定。
		北海道新幹線昆布トンネル（桂台）着工。
		「ニセコルール」を確立し、エリアのスキー産業に大きく貢献した業績が認められ、ニセコ雪崩調査所所長の新谷暁生氏が、スキー業界のオスカーと評される「ワールド・スキー・アワード」において特別賞として世界初の人物表彰を受ける。

年	月	出来事
2015（平成27）	2	ニセコビューブラザが、「重点道の駅」に選定される（全国で35箇所）。
	3	北海道日本ハムファイターズカップジャイアントスラローム大会初開催。
	5	ニセコ町少年消防クラブ結成。
	10	「第3回プラチナ大賞（主催：プラチナ構想ネットワーク）」において「優秀賞」受賞。 北海道内初の「プラチナシティ」に認定。
2016（平成28）	3	まち・ひと・しごと創生法に基づく「ニセコ町自治創生総合戦略」策定。
	4	ニセコこども館オープン。
	7	ニセコ中央倉庫群オープン。
	10	株式会社北海道銀行との「地方創生に関する包括連携協定」締結。 ニセコ町幼児センター「きらっと」増築。
2017（平成29）	3	ニセコ町不動産業協会との「ニセコ町における別荘・空き家等の管理に関する協定」締結
	7	コミュニティ・スクール導入。
	6	ニセコ町を舞台に撮影された映画「single mom 優しい家族」クランクアップ
	12	ニセコ斎場オープン。
2018（平成30）	2	イラストレーター・藤倉英幸氏から約1万点のほり絵作品等の寄贈を受け、有島記念館で公開。
	3	ニセコ町・倶知安町・蘭越町で構成するニセコ観光圏のプラットフォーム、（一社）ニセコ プロモーションボードが地域連携DMOに法人登録。 コミュニティスクール導入。
	6	「SDGs未来都市」に認定される。（全国で29自治体）
	8	世界首長誓約（持続可能な地域づくりを目指すとともに、パリ協定の目標達成に貢献）に誓約。
2019（平成31）	10	「ふるさと住民票」制度開始。
	12	（株）ルピシアグルマンが本社をニセコ町へ移転。
	2	ニセコ高校体育館リニューアルオープン。 株式会社ニセコ蒸留所設立。
	3	国立研究開発法人防災科学技術研究所、倶知安町と3者による「雪崩事故防止等の 雪氷災害防止に向けての連携協力に関する協定」締結。
2020（令和2）	10	蒸気機関車「9643」公開が始まる。
	3	まち・ひと・しごと創生法に基づく「第2期ニセコ町自治創生総合戦略」策定。 西富地区町民センター建替工事完了。
	4	ニセコ町ふるさとづくり寄付制度（企業版）開始。
	7	官民連携のまちづくり会社「株式会社ニセコまち」設立。 株式会社ルピシア本社移転。 2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明（ニセコ町気候非常事態宣言）
2021（令和3）	9	国際的な持続可能な観光の認証機関「グリーンデスティネーションズ」から「グリーンデスティネーションズ トップ100」受賞。
	12	リッツ・カールトンの最上級ホテルブランド「リッツ・カールトン・リザーブ」がオープン。 株式会社ニセコ蒸留所のニセコ蒸留所完成。
	3	役場新庁舎完成。 株式会社ニセコ蒸留所がウイスキー及びジンの蒸留を開始。
	4	ニセコ町立近藤小学校教室棟（2教室分）の増築。
2022（令和4）	7	ニセコエクスプレスなどを保存する「ニセコ鉄道遺産群」公開開始。
	10	2年連続で「グリーンデスティネーションズ トップ100」受賞。
	11	開町120周年を迎える。
	12	UNWTO（国連世界観光機構）から世界の観光地優良事例として「ベストツーリズムビレッジ」受賞 UNWTO COP26（国連機構変動枠組条約第26回締約国会議）にてグラスゴー宣言に署名。日本の自 治体として初の署名。
2022（令和4）	4	日本ユニセフ協会から「日本型子どもにやさしいまち実戦自治体」に承認 ニセコミライ第一エ区分譲A棟（モグレニセコA棟）の販売を開始
	6	ファミリーサポートセンター事業の開始。
	7	ニセコエリアを広域で周遊するオープントップバス「スカイバスニセコ」の夏季運行開始。
	9	観光庁より魅力ある観光地づくりやその魅力の発信など、観光の振興、発展に貢献した功績をたたえ、 個人や団体へ送られる「観光庁長官表彰（第14回）」受賞。

年	月	出来事
2023（令和5）	2	ニセコ町開町120周年記念感謝状贈呈式。
	3	地域循環会社「株式会社ニセコ雪森考舎」設立。 小樽商科大学との包括連携協定締結。 コンビニエンスストア等で住民票、印鑑登録証明書の発行サービス開始。
	4	契約書等の電子契約を開始 ニセコミライ第一エ区分譲A棟（モクレニセコA棟）の建設工事開始
	5	行政手続きのオンライン受付を本格開始。 麗澤大学との包括連携協定締結。
	6	カーシェアリングサービス事業を展開するタイムズモビリティ株式会社と、シェアリングサービスの普及促進による地方創生推進のため、地域包括連携協定を締結。 「グリーンデスティネーションズ」から「シルバーアワード」を受賞。日本の自治体として2例目。
	10	スキマバイトサービスを展開する株式会社タイミー、倶知安町と住民の暮らしの満足度向上と地域活性化推進のため、地域包括連携協定を締結。
	12	（一社）北海道ハイヤー協会、GO（株）、倶知安町と問う危機感の交通課題解決に向け、車両・乗務員の都市部からの応援派遣を受ける「ニセコモデル」を開始
2024（令和6）	1	ニセコ町土地開発公社解散精算完了
	3	ニセコ町建築ガイトラインの策定
	4	一般国道5号（北海道横断自動車道）蘭越倶知安道路新規事業化決定
	6	北海道の公立高等学校配置計画案の変更により、R8年度からニセコ高校で新設校配置となる発表
	7	有島記念館にてTAKEO PAPER SHOW「PACKAGING—機能と笑い」ニセコ展開催
	8	株式会社まちのミライ及び株式会社コンサドールとハートラボオフィシャルパートナー協定を締結。
	11	町民や観光客から信頼される、持続可能な国際リゾートの実現に向けた財源の一つとして、宿泊税の導入を開始。
2025（令和7）	4	デロイト・トーマツファイナンシャルアドバイザー 合同会社とハートラボオフィシャルパートナー協定を締結。



ニセコ町統計資料「数字で見るニセコ」2025年5月末版

発行／ニセコ町 企画環境課経営企画係

〒048-1595 北海道虻田郡ニセコ町字富士見55番地
TEL 0136-56-8837 FAX 0136-44-3500
公式ウェブサイト <https://www.town.niseko.lg.jp>